消防年報

平成３０年発行　６６号

桑 名 市 消 防 本 部

消　防　訓

1、　正　確　迅　速

1、　明　朗　融　和

1、　創　意　工　夫

1、　誠　心　誠　意

1、　沈　着　冷　静

は　し　が　き

１．この年報は、平成 29 年中の桑名市及び受託１市２町（いなべ市・木曽岬町・東員町）における消防諸般の状況を収録し、あわせて累年の消防状況と比較検討して将来の防災対策の資料とするために編さんしたものです。

２．この年報中、消防の現勢、消防団関係は平成 30 年 4 月 1 日をもって収録しました。

目　　次

◎桑名市というところ　.....　1
◎桑名市消防のあゆみ　.....　3

◎消防の現勢
管内市町の位置　.....　17
桑名市消防機関の配置図　.....　17
庁舎施設概要　.....　18
１．消防本部・桑名市消防署　２．西分署　３．大山田分署　４．多度分署
５．長島木曽岬分署　６．いなべ消防署　７．北分署　８．東員消防署
一目消防概要　.....　20
管内情勢　.....　21
消防予算の推移（当初予算）　.....　22
平成 30 年度消防予算（当初予算）　.....　22
消防本部・消防署の組織　.....　23
消防本部・消防署事務分掌　.....　24
歴代消防長　.....　26
消防本部・消防署の職員現勢　.....　27
階級別勤続年数状況　.....　28
階級別年齢状況　.....　29
消防職員教養研修状況　.....　30
消防職員消防関係資格取得状況　.....　31
消防本部・消防署車両の配置状況　.....　32
消防本部・桑名市消防署　西分署　大山田分署　多度分署
長島木曽岬分署　いなべ消防署　北分署　東員消防署
消防資機材一覧表　.....　34
消防水利の現況　.....　37
１．管径別消火栓　２．容積別防火水槽　３．その他の水利

◎火災統計

市町別火災状況 38
時間別発生件数 38
月別火災状況 39
年次別火災状況 40
年次別出火原因件数 41
年次別の主な出火原因と件数 42
年次別火災損害額 42
年次別建物火災状況 43
過去の主な火災 44

◎救急救助統計

救急現況（１．事故種別出場件数 ・ ２．時間別出場件数） 45
月・事故別救急出場状況 46
年代別搬送人員 46
過去５年間の救急出場状況（市町別救急出場件数） 47
傷病者の状況 48
市町別救急出場状況 49
署・分署別救急出場状況 50
応急手当の普及啓発活動実施状況 51
普通・上級救命講習受講人員 51
救助出場状況（１．市町別出場件数・２．過去５年間の救助出場状況） 52

◎予防統計

危険物製造所等の施設数 53
市町別危険物施設の現況 54
危険物施設許可認可等の申請取扱件数 55
危険物規制に関する届出件数 55
火災予防条例に基づく諸届出件数 56
建築同意件数 56
用途別建築同意件数 57
市町別防火対象物数（棟別） 58
市町別中高層建築物数 59

◎通信・気象統計

年間 119 番受信件数 60
月別 119 番受信件数 61
通信施設の現況 62
気温 63
風速 63
湿度 64
降雨量 64
風向頻度 65
警報・注意報等発表状況 66

◎消防団（桑名市）

消防団のあゆみ 67
消防団の組織 74
消防団階級別団員数 75
消防団員の勤続年数状況 76
消防団員の年齢状況 76
歴代消防団長 77
消防団員教育実施状況 77
桑名市消防団区域図 78
桑名市消防団施設概要 79
桑名市消防団車両の配置状況 80
消防操法大会出場分団 81

桑名市というところ

桑名市は三重県の北端にあって、豊かな緑の鈴鹿連峰と養老山系を背後に、揖斐・長良・木曽の三大河川が伊勢湾に注ぐ堆積デルタ地帯に位置しています。

このような立地条件を有する桑名は、古くから海上交通輸送の拠点として発達し、「十楽の津」と呼ばれ、米、木材、油などが集散する活発な商業都市を形成してきました。

江戸時代に入ると、東海道五十三次の「七里の渡し」の宿駅機能が付加され、宿場町として、また松平十一万石の城下町として栄えました。

明治22年桑名町となり、大正12年に赤須賀村、昭和８年に益生村、同12年には西桑名町と合併し同年４月市制を施行しました。昭和20年７月戦災を被り、市街の大半は焦土と化しましたが、その後、市民のたゆまぬ努力をもって復興し、昭和26年に桑部、在良、七和の３カ村と合併、同30年には久米、深谷村と、翌31年には城南村と合併して面積は57.39ｋ㎡となりました。

昭和34年９月26日、未曽有の被害をもたらした伊勢湾台風の来襲では、市街地のほとんどが水中に没して一時は陸の孤島と化し、その被害は死者201名、負傷者1,531名、罹災者38,000名、被害総額200億に達する、空前の災害となりました。その後、護岸堤防の改修工事、排水工事の整備促進により水に強い都市へと変革しています。

そして平成16年12月６日、桑名市、多度町、長島町が合併し、面積136.68ｋ㎡の面積を有する新「桑名市」として、新たなスタートを切りました。

歴史のまち桑名の伝統や文化面では、天下の奇祭で有名な国指定重要無形民俗文化財「石取祭」同「伊勢大神楽」をはじめ、桑名の千羽鶴など有形・無形の貴重な歴史的伝統財産が伝承されています。このほか、東海道の「七里の渡し」や街道筋、沿道に建立された青銅の鳥居、桑名城のなごりをとどめる城壁、堀などの史跡も数多く残されています。大正２年に完成した「六華苑」は鹿鳴館の設計で有名なイギリス人建築家ジョサイア・コンドルによる貴重な建築物として、国の重要文化財に指定されています。

桑名市北部に位置する多度地区は「多度峡」など緑ゆたかな自然や、上げ馬神事や流鏑馬祭りで有名な「多度大社」といった名所を有し、木曽三川に囲まれる長島地区は「輪中」にその護岸の歴史をとどめ、また全国に名を知られるレジャー施設は、連日活気に満ちた賑わいを見せています。

産業面では、鋳物は特に「桑名の鋳物」として三百数十年の歴史を誇り、古くから全国有数の鋳物産地として知られていますが、近年は、工業団地が造成され大規模な企業進出も進んでいます。他にも、海水と木曽三川の河川水が適度に混合する豊かな海域における水産業が盛んで、蛤、シジミ、海苔、白魚の産地としても有名です。

また平野部では稲作を中心に花卉園芸やトマト、なばな、丘陵地ではみかんなどの生産が盛んで、他にも山あいを流れる清らかな谷川で育った川魚を使った料理など、山、川、海の自然の恵みに支えられ、彩りゆたかに桑名の食文化は発展してきました。

交通面では、ＪＲ関西本線や近鉄名古屋線、養老鉄道、三岐鉄道北勢線などの鉄道や、国道１号・23 号・258 号・421 号線と東名阪自動車道、伊勢湾岸自動車道が貫通し、名古屋、大阪をはじめとする、都市間を結ぶ大動脈として放射状に整備され、広域化する人と物との交流を積極的に支援する、交通の結接点としての条件を備えています。

近年の桑名は幹線道路網の整備、大規模な住宅地開発、下水道事業の促進等、都市基盤の整備が着実に進められています。第二名神高速道路、東海環状自動車道等、主要幹線道路へのアクセスが容易となる地域性から、今後、文化や情報の交流・発信地としての整備も推進され、『本物力こそ、桑名力。』をキャッチフレーズに掲げ、『次世代へと続く快適な暮らしの中でゆるぎない魅力が本物として成長し続けるまち桑名』を本市のめざすべき都市像として、その実現に向けて、着実な一歩を踏み出しています。

桑名市消防のあゆみ

明治27年６月19日	桑名町消防組は県令の組織認可を受け発足
昭和12年４月１日	市制施行により桑名市消防組を編成し、陣容は組頭以下330名で、これを６部に分け、消防ポンプ自動車７台、手曳ポンプ１台、蒸気ポンプ１台、腕用ポンプ 10 台を配備
昭和14年４月１日	消防組を警防団に改革し、１団７分団にて定員600名に増員
昭和16年11月15日	季節常備を設置（11月15日～翌年４月15日）部員７名が桑名警察署内ポンプ詰所で交代に服務
昭和19年４月１日 11月20日	警防団季節常備部を警防団常備消防部とし、初代部長に平野義一が就任、部員は部長以下11名で消防ポンプ車１台を配備 手曳ガソリンポンプ１台、オートバイ３台、鉄兜等消防用機器を増強
昭和21年10月31日	昭和 20 年７月の戦災以来、元西桑名町役場に住いしていた常備消防部庁舎を市内末広町に新築、同年11月１日から新庁舎で業務を開始
昭和22年９月16日	常備消防部長の更迭をみた 警防団が廃止され、桑名市消防団を組織し、定員330名とした
昭和23年３月７日	法律第226号消防組織法の施行に伴い、警察から完全に独立し、消防は市町村の任務とされ、自治体消防が発足
昭和24年10月１日	桑名市消防本部を設置、初代消防長以下16名、装備は消防ポンプ自動車（ダッチ）１台、単車１台で発足
昭和25年９月１日	消防本部定員を25名に増員し、消防ポンプ自動車「金竜号」を配備
昭和27年３月７日 ７月23日	桑名市防火協力会（仮称）創立総会 初代会長　昭和ミシン㈱　岡　実氏就任 消防本部に水槽付消防ポンプ自動車・GMC「呑竜号」を配備
昭和28年６月１日 ７月21日	消防本部定員を２名増員、27名とした 消防本部に小型動力ポンプ「日機号」を配備し、呑竜号に積載
昭和30年５月１日	二代目消防長が就任
昭和31年１月10日 １月14日	消防本部に消防ポンプ自動車「銀竜号」を配備 消防本部の消防ポンプ自動車（ダッチ）を消防団第４分団に配備
昭和34年７月13日 ９月30日	三代目消防長が就任（専任となる） 桑名市消防署を設置
昭和35年２月１日 ９月30日	消防署に水槽付消防ポンプ自動車水Ⅱ型「天竜号」を配備 消防本部に指令車（無線広報設備付）を配備
昭和36年12月１日	無線移動局車載型１機、携帯型２機を配備
昭和37年９月１日	桑名市防火協力会から単車（メグロ）の寄贈を受け、本部連絡車として配備
昭和38年１月16日 ３月 11月１日 12月１日	消防署に消防ポンプ自動車ＢＤ－Ⅰ型「赤竜号」を配備 消防署の消防ポンプ自動車「金竜号」を消防団第13分団に配備 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車ＢＳ－Ⅰ型「保険号」の寄贈を受け、消防署に配備 消防署の消防ポンプ車ＢＳ－Ⅰ型を消防団第５分団に配備

昭和39年２月１日	桑名ロータリークラブから救急自動車２Ｂ型（トヨタ）の寄贈を受け、消防署に配備し、救急業務を開始
９月28日	消防本部庁舎を桑名市中央町三丁目35番地に移転、鉄筋コンクリート２階建完成 建築面積　393.80㎡　延面積　803.02㎡ 敷地面積　2,478.28㎡　望楼高さ　27.50m
昭和41年８月	桑名市防火協力会から単車（ホンダ）の寄贈を受け、本部連絡車として配備
昭和42年８月22日	消防本部に軽四輪車（マツダ）を本部連絡車として配備
９月１日	超短波無線移動局３機、携帯無線機２機を配備
12月１日	消防署の消防ポンプ自動車「銀竜号」をＢＤ－Ⅰ型に更新し、旧車両を消防団第３分団に配備
昭和43年４月16日	西部方面の消防を強化するため、西分署を桑名市大字増田字馬渕604番地の３に開署、同日から分署長以下11名を配置、消防ポンプ自動車「銀竜号」、移動局１機、受令機１機の装備で業務を開始 建築面積　163.60㎡　延面積　295.60㎡ 敷地面積　373.55㎡　望楼高さ　18.50m
７月１日	消防副士長の階級が制度化され、同年12月１日に１名が昇任
７月10日	長島町、木曽岬村と救急応援協定を締結
昭和44年１月10日	西分署に水槽付消防ポンプ自動車「金竜号」（水Ⅰ－Ａ型）を配備
１月16日	桑名市防火協力会から単車（スズキ）の寄贈を受け、本部連絡車として配備
４月１日	四代目消防長が就任
６月１日	桑名市防火協力会から広報車（ニッサンスカイラインライトバン）の寄贈を受け、消防本部に配備
８月８日	桑名市防火協力会から空気呼吸器（ライフゼム型）２機の寄贈を受け、消防署で初めて採用
12月12日	消防署に24m級はしご付ポンプ自動車「昇竜号」を配備し、高層建築物火災における消火活動及び人命救助等に備えた
昭和45年４月１日	多度町から消防事務の委託を受け消防業務を開始
６月18日	消防署に救急自動車２Ｂ型（トヨタ）を配備
８月31日	消防職員待機宿舎（青志寮）を桑名市中央町３丁目に設置
11月26日	多度町から消防ポンプ自動車「多度号」（ＢＳ－Ⅰ型）を譲渡された
12月18日	水槽付消防ポンプ自動車「鯨山号」（水Ⅰ－Ａ型）を購入
12月23日	多度分署庁舎を桑名郡多度町大字香取字蛯江2199番地の29に完成、同日から分署長以下13名を配置し、水槽付消防ポンプ自動車「鯨山号」、消防ポンプ自動車「多度号」、救急自動車（トヨタ）１台、軽四輪車１台、小型動力ポンプ１台、超短波無線基地局１基、移動局３機、テレビ塔・監視装置１基の装備で業務を開始 建築面積　248.00㎡　延面積　455.00㎡ 敷地面積　763.57㎡　テレビ塔高　26.90m
昭和46年３月15日	消防署に化学消防ポンプ自動車「大竜号」（Ⅱ型）を配備
５月15日	消防本部に小型乗用車（トヨタクラウン）を連絡車として配備
５月27日	「桑名市防火協力会」を「桑名防火協会」と改称

昭和46年7月2日	消防署の消防ポンプ自動車「保険号」（ＢＳ－Ⅰ型）を消防団第13分団（安永）に配備
10月11日	多度分署に小型動力ポンプ付積載車（ミニエース）を配備し、同分署の軽四輪車（マツダ）を西分署へ配備
11月13日	山之内製薬から救急自動車３Ｂ型（ニッサンエコー）の寄贈を受け、消防署に配備
12月11日	桑名防火協会から空気呼吸器一式、特殊録音装置一式の寄贈を受け、消防署に配備
12月26日	消防署、西分署に昼夜切替式望楼テレビ２基を購入し、望楼勤務をテレビ監視に切替えた
昭和47年7月6日	多度分署にジェットシューター（５個）配備、山林火災における消火活動に備える
10月3日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車（ＢＤ－Ⅰ型）の寄贈を受け、消防団第13分団（安永）へ配備し、同分団車「保険号」を消防署に配備
11月9日	桑名防火協会から空気呼吸器の寄贈を受け、消防署に配備
昭和48年3月31日	消防署の通信室増築完成
8月29日	三重県共済農業協同組合連合会から救急自動車２Ｂ型（ニッサンキャラバン）の寄贈を受け消防署に配備
9月4日	消防署に空気呼吸器一式を配備
11月15日	消防署に救助訓練塔一式、超短波無線移動局１機、人工蘇生器を配備
12月6日	桑名防火協会から高発泡200倍ノズル一式、救助工作用具一式、ミロク式ロープ発射銃の寄贈を受け、消防署に配備
昭和49年3月11日	消防職員待機宿舎（青志寮）を桑名市新築町67番地の１に移転
9月6日	消防署に高発泡機一式を配備
10月31日	消防署に救難用ゴムボート（シックスマンボートＢＲ－104型６人乗り）を配備
昭和50年6月16日	消防署に蘇生器（ミニットマン）を配備
10月22日	高速自動車道東名阪国道の開通に伴い長島町、海部南部消防組合、四日市市、鈴鹿市、亀山市と消防相互応援協定を締結
昭和51年4月5日	五代目消防長が就任
8月31日	消防本部の指令車を更新
10月29日	日本損害保険協会から救急自動車２Ｂ型（ニッサンキャラバン）の寄贈を受け消防署の救急自動車を更新
昭和52年5月12日	消防本部の連絡車を更新
7月12日	消防署に蘇生器（ミニットマン）を配備
7月18日	桑名防火協会からパワーテント（２Ｋ×３Ｋ）一式の寄贈を受け、消防本部に配備
10月28日	西分署の軽四輪車（マツダ）を廃車
昭和53年4月1日	市条例消防職員定数を100名に改正
5月30日	消防本部に広報車（三菱ギャランライトバン）を配備し、同本部の広報車（ニッサンスカイラインバン）を西分署に連絡車として配備
11月25日	消防署の水槽付消防ポンプ自動車「天竜号」を水Ⅱ型に更新
12月22日	消防署指揮旗並びに消防団指揮旗の制式及び使用内規を定めた
昭和54年4月1日	市条例消防職員定数を104名に改正
12月27日	消防署の消防ポンプ自動車「赤竜号」をＣＤ－Ⅱ型に更新

昭和55年２月１日	消防本部の組織機構を改正し、課制を導入、総務・消防・予防の３課７係制とした
４月１日	市条例消防職員定数を107名に改正
６月１日	消防署に空気呼吸器（ライフゼム８型）一式、マジックギブス一式、超短波無線移動局２機を配備
９月３日	消防署に小型動力ポンプ付積載車（ニッサンホーマー）を配備
	多度分署に軽可搬式消防ポンプ（Ｄ－２級ラビットＰ201型）一式を配備
昭和56年４月１日	市条例消防職員定数を114名に改正
６月14日	消防署の救急自動車３Ｂ型（ニッサンエコー）を市民病院へ譲渡
７月１日	消防署に空気呼吸器（陽式ライフゼム８型）を配備
昭和57年２月１日	消防本部に通信指令室を新築し、救急指令装置Ｂ型を配置
	消防本部の組織機構を一部改正し３課８係制とし、一部事務分掌を改正
２月20日	水槽付消防ポンプ自動車「雲竜号」（水Ⅱ型）を購入
３月11日	日本損害保険協会から救急自動車２Ｂ型（トヨタハイエース）の寄贈を受けた
３月30日	消防署に救急自動車２Ｂ型（トヨタハイエース）を配備
３月31日	多度分署の小型動力ポンプ付積載車を更新
４月１日	大山田分署庁舎を桑名市大山田一丁目７番地の１に完成、同日から分署長以下15名を配置し、水槽付消防ポンプ自動車「雲竜号」、消防ポンプ自動車「保険号」、救急自動車１台、超短波無線移動局４機、空気呼吸器一式２機、ジェットシューター２個、非常用発電機（固定・移動）２基の装備で業務を開始 建築面積　408.23㎡　延面積　533.35㎡ 敷地面積　1,811.99㎡
	市条例消防職員定数を117名に改正
４月８日	大山田分署開設に伴い、火災出動要綱及び救急出動要綱を作成施行
５月１日	市消防救助隊設置処務要綱及び消防訓練安全管理基準を作成施行
	救急自動車（トヨタ）を救助車に改造し運用開始
５月25日	ＮＴＮ東洋ベアリング桑名工場からビデオ装置一式の寄贈を受け、消防本部に配備
５月30日	消防無線運用管理規程を制定施行
７月１日	桑名防火協会から和文型タイプライター（ニューライター）の寄贈を受け、消防本部に配備
７月24日	西分署に超短波無線機携帯用２機を配備
12月21日	西分署の消防ポンプ自動車「銀竜号」をＣＤ‐Ⅰ型に更新
昭和58年４月１日	市条例消防職員定数を119名に改正
４月８日	第６回三重県消防職員意見発表会において優秀賞を受賞、同年４月26日東海支部消防職員意見発表会で最優秀賞を受賞し東海支部代表となり、同年６月２日第６回全国消防職員意見発表会で優秀賞を受賞
６月29日	桑名防火協会から査察車（トヨタカローラバン）の寄贈を受け、消防本部に配備
11月14日	日本損害保険協会から16m級屈折はしご付消防ポンプ自動車「火災保険号」の寄贈を受け、大山田分署に配備
11月28日	消防署の水槽付消防ポンプ自動車「呑竜号」を水Ⅱ型に更新
12月１日	救急医療情報システム桑名地域救急医療情報センターとして業務を開始

昭和59年２月18日	三重県共済農業協同組合連合会から救急自動車２Ｂ型（ニッサンキャラバン）の寄贈を受け消防署に配備し、同署の救急自動車（トヨタハイエース）と多度分署の救急自動車（ニッサンキャラバン）を入れ替えた
３月28日	長島町と木曽岬村から消防事務委託を受け、規約を締結
４月１日	市条例消防職員定数を143名に改正
	桑名市火災予防条例を一部改正
８月23日	日本消防協会から指揮車（ニッサンブルーバードバン）の寄贈を受け、消防本部に配備
９月７日	山之内製薬から救急自動車２Ｂ型（ニッサンキャラバン）の寄贈を受けた
10月１日	消防本部に関する規則を一部改正し、署の庶務係・予防係を廃止
10月20日	消防ポンプ自動車「揖斐号」（ＣＤ－Ⅰ型）を購入
10月22日	小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス）を購入
10月27日	長島町から水槽付消防ポンプ自動車「長良号」（水Ⅰ－Ａ型）を譲渡された
11月１日	長島ライオンズクラブから長島木曽岬分署の広報連絡車（ニッサンスカイラインバン）の寄贈を受けた
	長島木曽岬分署庁舎を桑名郡長島町大字松ヶ島 43 番地に完成、同日から分署長以下24名を配置し、水槽付消防ポンプ自動車「長良号」、消防ポンプ自動車「揖斐号」、救急自動車２Ｂ型１台、小型動力ポンプ付積載車１台、広報連絡車１台、超短波無線基地局１基、移動局５機、テレビ塔・監視装置１基、非常用発電機（固定・移動）２基、気象観測装置１基の装備で業務を開始 建築面積　518.96㎡　延　面　積　671.18㎡ 敷地面積　1,725.00㎡　テレビ塔高　30.00m
	長島木曽岬分署開設に伴い、火災出動要綱及び救急出動要綱を一部改正
11月６日	大山田分署に消防ポンプ自動車「星竜号」（ＣＤ－Ⅰ型）を配備し、同分署の消防ポンプ自動車「保険号」（ＢＳ－Ⅰ型）を消防署へ配備
11月27日	消防署の消防ポンプ自動車「保険号」（ＢＳ－Ⅰ型）を廃車
昭和60年２月８日	消防本部通信指令室に基地局（ＣＨ２）を増設
３月１日	消防署に高圧ガス製造所（空気充てん施設）を設置
３月６日	消防本部及び消防団に消防庁長官から表彰旗を授与された
11月25日	西分署の水槽付消防ポンプ自動車「金竜号」を水Ⅰ－Ａ型に更新
	多度分署の消防ポンプ自動車「多度号」をＣＤ－Ⅰ型に更新
	長島木曽岬分署に35m級はしご付消防ポンプ自動車「木曽号」を配備
12月25日	桑名市火災予防条例を一部改正
昭和61年３月６日	防災無線を設置し、運用を開始
３月28日	東員町から消防事務委託を受け、規約を締結
４月１日	市条例消防職員定数を166名に改正
	消防本部の組織機構を一部改正し３課７係制とし、一部事務分掌を改正
	桑名市消防衛生管理規程を制定施行
	桑名市消防安全管理規程を制定施行
８月１日	広報連絡車（三菱ジープ）を購入
８月19日	日本消防協会から救急自動車２Ｂ型（ニッサンキャラバン）の寄贈を受けた

昭和61年８月25日	桑名市消防衛生管理規程に伴い、毎月15日を消防衛生の日と定めた
10月21日	水槽付消防ポンプ自動車「速風号」（水Ⅱ型）、消防ポンプ自動車「松風号」（ＣＤ－Ⅰ型）小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス）を購入
11月１日	東員分署庁舎を員弁郡東員町大字六把野新田 86 番地の１に完成、同日から分署長以下23名を配置し、水槽付消防ポンプ自動車「速風号」、消防ポンプ自動車「松風号」、救急自動車２Ｂ型１台、小型動力ポンプ付積載車１台、広報連絡車１台、超短波無線基地局１基、移動局５機、テレビ塔・監視装置１基、非常用発電機（固定）２基、気象観測装置１基の装備で業務を開始 建築面積　632.487㎡　延　面　積　802.51㎡ 敷地面積　2,707.870㎡　テレビ塔高　30.00m
12月16日	東員分署の開設に伴い、火災出動要綱及び救急出動要綱を一部改正 消防署の化学消防ポンプ自動車「大竜号」をⅣ型に更新 多度分署の水槽付消防ポンプ自動車「鯨山号」を水Ⅰ－Ａ型に更新
昭和62年５月12日	三重県危険物安全協会桑名支部設立 初代支部長（株）ナヤデン　栗田伸太郎氏就任
６月２日	六代目消防長が就任
８月24日	消防訓を制定
９月18日	海部南部消防本部と「119 番同時受信システムの運用に関する覚書及び協議書」を締結、施行
11月10日	消防署に２台、大山田分署に１台小型動力ポンプを配備
12月16日	消防署に救助工作車「飛竜号」（Ⅱ型）を配備し、救助車（トヨタ）を廃車
12月24日	海部南部消防組合消防本部と消防相互応援協定を締結 （施行は昭和63年１月１日から）
12月25日	東員分署に化学消防ポンプ自動車「朝風号」（Ⅳ型）を配備
昭和63年４月１日	員弁地域救急医療情報センターの業務を開始
10月１日	桑名市消防本部に関する規則の一部を改正
11月１日	七代目消防長が就任
平成 元年１月22日	桑名ライオンズクラブから救急自動車２Ｂ型（トヨタハイエース）の寄贈を受け消防署の救急自動車を更新
３月31日	三重県下消防相互応援協定を締結（施行は４月１日から）
４月１日	河川・流域総合情報システムを設置し、運用を開始
４月７日	桑名市において第12回三重県消防職員意見発表会を開催（桑名市中央公民館）
６月６日	消防本部の広報車を更新
９月29日	北勢町、員弁町、大安町、藤原町から消防事務委託を受け、規約を締結 市条例消防職員定数を230名に改正
10月１日	八代目消防長が就任
10月20日	員弁北分署に広報連絡車（トヨタランドクルーザー）を配備
11月３日	長島ライオンズクラブから煙体験ハウス一式、防火ビデオカセット一式、天ぷら火災実験装置一式の寄贈を受け、長島木曽岬分署へ配置
平成２年１月31日	市役所から小型乗用車（トヨタクラウン）を譲渡され、消防本部の連絡車を更新

平成２年２月 26 日	日本自動車工業会から救急自動車２Ｂ型（トヨタハイエース）の寄贈を受け、大山田分署に配備し、同分署救急自動車（トヨタハイエース）を消防署に配備し、同署の予備車を廃車
７月１日	「三重県危険物安全協会桑名支部」を「桑名危険物安全協会」と改称
８月 30 日	消防署の指令車（三菱ジープ）を廃車
10 月 31 日	員弁南分署の広報連絡車（ニッサンアベニールカーゴ）を配備
11 月 20 日	消防署に小型動力ポンプ付水槽車（日野スーパードルフィン）を配備
11 月 30 日	西分署の水槽付消防ポンプ自動車「金竜号」を大山田分署に配備し、同分署の水槽付消防ポンプ自動車「雲竜号」を消防署に配備
12 月１日	桑名市農業協同組合から救急自動車２Ｂ型（ニッサンキャラバン）の寄贈を受け西分署に配備し、同分署を消防ポンプ自動車と救急自動車の２台体制とした
12 月 25 日	消防署に現場指揮車（トヨタハイエース）を配備
平成３年１月 30 日	消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型（三菱キャンター）２台を購入
１月 31 日	日本損害保険協会から救急自動車２Ｂ型（ニッサンキャラバン）の寄贈を受けた救急自動車２Ｂ型（ニッサンキャラバン）を購入
２月１日	消防課から通信指令室を分離し、消防本部の組織機構を一部改正し３課１室８係制とし、一部事務分掌を改正 消防無線運用管理規程を全部改正
３月１日	員弁南分署庁舎を員弁郡大安町大字高柳 418 番地に完成、同日から分署長以下 12 名を配置し、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型１台、救急自動車２Ｂ型１台、広報連絡車１台、超短波無線基地局１基、移動局３機、テレビ塔・監視装置１基、非常用発電機（固定）１基の装備で業務を開始 建築面積　699.702 ㎡　延　面　積　908.007 ㎡ 敷地面積　3,535.480 ㎡　テレビ塔高　30.000m 員弁北分署庁舎を員弁郡北勢町大字瀬木 50 番地の 10 に完成、同日から分署長以下 12 名を配置し、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型１台、救急自動車２Ｂ型１台、広報連絡車１台、超短波無線移動局３機、訓練塔１棟、非常用発電機（固定）１基、気象観測装置１基の装備で業務を開始 建築面積　699.702 ㎡　延　面　積　908.007 ㎡ 敷地面積　3,080.000 ㎡　訓 練 棟 高　19.920m 員弁南分署、員弁北分署の開設に伴い、火災出動要綱及び救急出動要綱を一部改正 基地局（くわなしょうぼう、たどしょうぼう、ながしましょうぼう、とういんしょうぼう）を廃止し、新たに大山田分署に基地局（消防波・救急波）員弁南分署に前進基地局（消防波）を設置し、操作は消防本部通信指令室から遠隔で行う 救急指令装置Ⅱ型の一部を増設し、無線統制台を設置 四町受託に伴い桑名市、桑名郡及び員弁郡１市８町の 119 番を通信指令室にて一括受信となる
６月１日	九代目消防長が就任
８月 14 日	消防本部に予防広報車（トヨタマークⅡワゴン）を配備
12 月 12 日	消防署の救急自動車２Ｂ型を更新
12 月 20 日	多度分署の救急自動車２Ｂ型を更新

平成４年３月 27 日	桑名市において第 43 回三重県消防大会開催（桑名市民ホール）
８月 21 日	海津郡消防組合消防本部と海部西部消防組合消防本部とで「東海三県境地域消防相互応援協定」を締結（施行は９月１日から）
９月 29 日	長島木曽岬分署の救急自動車２Ｂ型を更新
10 月１日	十代目消防長が就任
平成５年２月 19 日	員弁南分署、員弁北分署それぞれに水槽付消防ポンプ自動車水Ｉ－Ａ型（日野レンジャー）を配備
２月 26 日	消防署に小型動力ポンプ積載車（三菱キャンター）を配備
３月５日	大山田分署に県防災ヘリコプターとの通信確保に必要な携帯基地局を設置し、操作は消防本部通信指令室から遠隔で行う
４月１日	十一代目消防長が就任
10 月 14 日	桑名市において第 68 回全国消防長会財政委員会開催（桑名シティホテル　～15 日）
11 月 24 日	消防本部・消防署庁舎が桑名市大字江場７番地に完成し、引渡しが行われた 桑名防火協会から新庁舎建設に伴い消火シミュレーション一式及び常夜灯の寄贈を受ける
12 月６日	新庁舎で一部業務を開始（消防本部の総務課、消防課、予防課の３課のみ）
平成６年２月１日	消防本部・消防署の新庁舎への移転完了し、業務を開始 庁舎棟は鉄筋コンクリート造３階建（一部２階建）、他に車庫棟（鉄骨造２階建）、訓練棟（鉄筋コンクリート造４階建）を併設 建築面積　2,249.47 ㎡　　延床面積　5,129.07 ㎡ 敷地面積　7,896.53 ㎡　　訓練棟高　　25.1m
２月 14 日	市内住宅密集地で発見された不発弾の処理のため、指揮本部を消防本部に設置
２月 15 日	桑名市消防職員待機宿舎（青志寮）を廃止、市役所へ移管
２月 17 日	四日市市、鈴鹿市、亀山市、及び長島町と「高速自動車道近畿自動車道名古屋・亀山線消防相互応援協定」を締結（施行は３月１日） これによって「高速道路における消防相互応援協定」を廃止
２月 23 日	桑名市消防本部・消防署新庁舎の竣工式を挙行
２月 25 日	員弁南分署に救助工作車Ⅱ型（日野レンジャー）、員弁北分署に小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型（日野スーパードルフィン）を配備
２月 28 日	日本損害保険協会から高規格救急自動車（日産パラメディック）の寄贈を受け、消防署の救急自動車を更新
８月１日	彦根市消防本部と「国道 306 号線消防相互応援協定」を締結、施行
８月 26 日	海部南部消防本部との「119 番同時受信システムの運用に関する覚書及び協議書」を廃止
９月 13 日	24m級はしご付消防ポンプ自動車「昇竜号」を老朽化のため廃車
９月 16 日	東員分署の救急自動車２Ｂ型を更新
９月 20 日	東海三県広域災害総合訓練に参加（木曽三川公園にて）
10 月１日	消防無線運用管理規程を一部改正
11 月 10 日	桑名市において全国消防長会東海支部役員会開催（桑名シティホテル　～11 日）

平成７年１月 17 日	午前５時 46 分、兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）発生（M7.2 の烈震）同日午後２時 10 分、被害のあった神戸市へ救助工作車にて応援出動（以後、応援出動回数６回を数える）
６月 13 日	桑名防火協会から査察車（トヨタカローラワゴン）の寄贈を受け、消防本部に配備
６月 30 日	全国の消防機関相互による迅速な援助を行うことを目的とし、緊急消防援助隊に協力する市町村の消防機関の代表によって発足式が行われ、同年９月５日に桑名市消防本部は、緊急援助隊の救急部隊として登録をした
７月 18 日	桑名市において、第 19 回三重県消防救助技術指導会開催（消防本部内）
10 月１日	桑名市救急業務実施規程を制定施行
10 月 31 日	市役所からマイクロバスを譲渡され、消防本部に配備
12 月６日	多度分署の小型動力ポンプ付積載車を更新
12 月 25 日	消防署に 40m 級はしご付消防ポンプ自動車を配備
平成８年１月１日	火災原因損害調査要綱を作成施行
２月 29 日	消防署の消防ポンプ自動車「赤竜号」をＣＤ‐Ⅰ型に更新
３月 22 日	市役所から小型乗用自動車（トヨタクラウン）を譲渡され、消防本部連絡車として配備
４月１日	十二代目消防長が就任 防災無線（衛星可搬局）を設置
10 月４日	消防署に資機材搬送車（トヨタライトエース）を配備
10 月 11 日	長島木曽岬分署の指揮車を更新
11 月７日	消防署、長島木曽岬分署の水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ－Ａ型「桑名１」「長島１」を更新
平成９年１月 29 日	員弁南分署、員弁北分署に小型動力ポンプ付軽四輪駆動積載車を配備
２月 28 日	大山田分署の水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ－Ａ型を更新
４月１日	十三代目消防長が就任
７月 14 日	桑名防火協会からＬＥＤ表示器（電光掲示看板）の寄贈を受ける
９月 25 日	消防署に車台付可搬式小型動力ポンプを配備
11 月 14 日	消防署、長島木曽岬分署の消防ポンプ自動車ＣＤ‐Ⅰ型「桑名３」「長島２」を更新
平成 10 年１月 20 日	大山田分署の消防ポンプ自動車ＣＤ‐Ⅰ型「大山田２」を更新
２月 20 日	大山田分署の２Ｂ型救急自動車を災害対応特殊救急自動車（高規格救急車）に更新
２月 26 日	長島木曽岬分署の小型動力ポンプ付積載車「長島３」を更新
７月１日	桑名防火協会から屋外用天ぷら油火災実験装置（温度計付）の寄贈を受ける
９月１日	聴覚・音声言語機能障害者からの緊急通報専用ファクシミリ（24-4119）を設置し運用開始
９月３日	大山田分署に防災指導車（軽四）を配備
10 月 15 日	ブロック別分散受信方式（四日市消防本部からの転送・伝達）による、移動体電話からの 119 番通報接続開始
平成 11 年２月 10 日	東員分署の水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ－Ａ型「東員１」を更新
２月 25 日	多度分署の消防ポンプ自動車ＣＤ‐Ⅰ型「多度２」を更新
平成 12 年２月３日	東員分署の消防ポンプ自動車ＣＤ‐Ⅰ型「東員２」を更新

平成12年２月８日	西分署、多度分署の水槽付ポンプ自動車Ｉ－Ａ型「西１、多度１」を更新
３月31日	長島木曽岬分署に訓練棟２棟（Ａ棟、Ｂ棟）が完成 訓練棟（Ａ棟） 建築面積　22.275㎡　延床面積　72.803㎡　高さ　17.0m 訓練棟（Ｂ棟） 建築面積　33.150㎡　延床面積　93.520㎡　高さ　10.0m
４月１日	桑名市消防手数料条例を施行
４月４日	十四代目消防長が就任
６月30日	消防本部の広報車「桑名61」を更新
７月21日	消防本部に防災パトロール車「桑名53」を配備
８月24日	東員分署の可搬ポンプ積載車「東員３」をクレーン付積載車に更新
９月24日	県道桑名員弁線開通に伴い、桑名・員弁郡医師会、桑名警察署、三重県防災航空隊、桑名市消防団、消防本部合同による集団救急事故訓練を実施
平成13年２月14日	西分署、員弁南分署の２Ｂ型救急車「救急桑名２、救急員弁２」を高規格救急車に更新
２月21日	市民の安全を祈念し「21世紀記念植樹式」を行い枝垂れ桜・牡丹桜・緋寒桜を植樹
３月19日	東員分署に訓練棟が完成 建築面積　33.602㎡　延床面積　94.56㎡　高さ　11.7m
３月26日	消防本部に非常用発電機300KVA型を設置
４月１日	消防本部の組織機構を一部改正し３課１室９係制とし、一部事務分掌を改正
５月20日	水陸両用水難救助艇（ホバークラフトレスキュータイプ）の寄贈を受け、消防署に配備
８月22日	東員分署、員弁北分署の連絡車「東員 51、員弁北 51」をワンボックスタイプの指揮車に更新
12月19日	桑名市火災予防条例を一部改正
平成14年２月１日	消防署､員弁北分署の２Ｂ型救急車「救急桑名５･救急員弁３」を高規格救急車に更新
２月28日	消防署に訓練棟（副棟）完成
３月１日	桑名市消防通信規程を制定施行し消防無線運用管理規程を廃止 桑名市消防通信運用要綱を作成施行
３月５日	消防署の救助工作車Ⅱ型「桑名41」を更新
３月７日	近畿自動車道名古屋神戸線川越インターまで開通に伴い四日市市消防本部、海部南部消防組合消防本部、名古屋市消防局、三重県警察、愛知県警察、三重県・愛知県・岐阜県の各防災航空隊、日本道路公団中部支社と合同訓練を実施
３月13日	海部南部消防組合消防本部、四日市市消防本部と「近畿自動車道名古屋神戸線消防相互応援協定」を締結、施行
３月25日	桑名市デジタル地域防災無線の運用開始
３月28日	分署に不在時緊急通報電話（通信指令室に直通）を設置し運用開始
８月１日	消防本部の予防広報車「桑名63」を低公害車（トヨタハイブリッドカーエスティマ）に更新 員弁南分署の連絡車「員弁南51」を更新、指揮車とする

平成 14 年９月１日	桑名市消防職員服務規程を制定施行 桑名市警防規程を制定施行 桑名市救助規程を制定施行し桑名市消防救助隊設置処務要綱を廃止 桑名市警防規程運用要綱を作成施行 桑名市火災等出場要綱を作成施行し火災出動要綱を廃止 桑名市消防の監査に関する要綱を作成施行
平成 15 年１月１日	桑名市再出火防止要綱を作成施行
１月	桑名市し尿処理場の拡張工事に伴い伐採される予定であった記念植樹の桜の木 11 本を、保存したいという同施設職員の意向を汲み、消防署が庁舎東側歩道（消防署管理）に譲り受け、消防職員約 70 名が休日・非番を利用し移植した(22 日～26 日)
２月 20 日	消防署、多度分署の２Ｂ型救急車「救急桑名４、救急多度１」を高規格救急車に更新
３月	消防署、長島木曽岬分署、東員分署、員弁北分署に救急消毒室を設置
３月 11 日	高速自動車国道近畿自動車道名古屋・関線及び名古屋・神戸線における川越ジャンクション開通に伴い、４市４町（四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、長島町、木曽岬町、朝日町、川越町）と消防相互応援協定を締結した
３月 26 日	清掃センター桜並木移植記念の木柱を設置、記念式典を行った
４月 1 日	桑名市火災調査要綱を制定施行し火災原因損害調査要綱を廃止 桑名市救急業務規程を制定施行し桑名市救急業務実施規程を廃止
７月１日	桑名市救急業務規程を一部改正
８月	多度町力尾地内の三重ごみ固形燃料発電所ＲＤＦ貯蔵槽において８月 14 日爆風により施設作業員４名が負傷、更に８月 19 日この火災の消火作業中に突然貯蔵槽が爆発し作業に従事していた消防職員２名が殉職、ほか施設作業員１名が負傷した
９月１日	桑名市消防安全管理規程に基づき、毎月 19 日を消防安全の日と定めた
11 月１日	桑名市警防規程を一部改正
12 月１日	北勢町、員弁町、大安町及び藤原町の合併による「いなべ市」の設置に伴い受託形態がいなべ市、多度町、長島町、木曽岬町、東員町の１市４町受託へ移行した
12 月 17 日	大山田分署の屈折はしご付消防ポンプ自動車「大山田 31」を 15m級シグマ型（三重県下初）に更新
平成 16 年２月５日	長島木曽岬分署の２Ｂ型救急車「救急長島１」を高規格救急車に更新
２月６日	員弁北分署の消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型「員弁北２」を更新
４月１日	消防本部内に桑名市防災指導センターを開設し、これまで学校区単位で実施してきた自主防災訓練や、自治会単位での防火、防災、救急等の訓練を、防災指導員が統合的に指導にあたる体制とした
８月６日	平成 15 年８月 19 日三重ごみ固形燃料発電所 RDF 貯蔵槽の爆発事故により殉職した２名の勇敢な活動を讃え、平成 16 年８月６日、桑名市コミュニティプラザ文化ホールにおいて桑名市消防葬を挙行、消防関係者及び国・県・市・町の関係機関の公職者等並びに管内市町民の総勢約 700 人の参列により、無宗教にて執り行った
８月 11 日	平成 15 年８月 19 日三重ごみ固形燃料発電所 RDF 貯蔵槽の爆発事故により殉職した２名の勇敢な活動を讃えご冥福を祈り、桑名市消防本部正面玄関に顕彰碑を建立、除幕式を行った

平成16年12月６日	桑名市・多度町・長島町の１市２町の合併による「桑名市」の設置により、いなべ市・木曽岬町・東員町の１市２町を受託する形態となった 市条例消防職員定数を236名に改正 桑名市火災予防査察規程を制定施行
12月９日	員弁南分署の消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型「員弁南２」を更新
12月27日	三重県遊技業協同組合桑名支部から防災指導センター指導車（トヨタハイエースバン）の寄贈を受け、防災指導センターに配備
平成17年３月３日	東員分署の２Ｂ型救急車「救急員弁１」を高規格救急車に更新、これにより、桑名消防保有の救急自動車 10 台すべてが高規格救急自動車となり救急の高度化体制が整い、医師の包括的な指示のもと救急救命士が傷病者に対し高度な救命処置と搬送が可能となった
３月30日	消防署の化学消防ポンプ自動車Ⅳ型「桑名４」を更新
４月１日	十五代目消防長が就任
10月21日	長島木曽岬分署のはしご付消防ポンプ自動車「長島31」を、三重県下初の先端屈折・水路管装備、30m級はしご付消防自動車に更新
12月１日	消防署の現場指揮車「桑名51」を更新
平成18年３月24日	員弁南分署に訓練塔が完成、１階に救急消毒室、および壁面には消防訓練施設としては三重県下初のクライミングウォールを設置 建築面積　47.67㎡　　延床面積　110.70㎡　　高さ　10.75m
４月１日	桑名市大字増田にあった西分署を大字赤尾 2107 番地２に移転、同日から分署長以下 15 名を配置し、水槽付消防ポンプ自動車１台、消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型１台、高規格救急自動車１台、防災指導車１台、自家発電設備、太陽電池発電所、ポンプ操法訓練場、放水壁、雨水利用防火水槽、自家給油所の装備で業務を開始 建築面積　1,104.98㎡　　延面積　1,389.19㎡ 敷地面積　4,000.02㎡　　訓練棟高　13.83m
８月24日	札幌市で行われた第 35 回全国消防救助技術大会に「ロープブリッジ渡過」が三重県代表として出場
11月27日	大山田分署の高規格救急車「救急桑名３」を更新
12月５日	本署の小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型「桑名５」を更新
平成19年４月１日	十六代目消防長が就任 消防本部の組織機構を一部改正し予防課火災調査係を廃止 消防署の組織に指揮情報係を新設 消防指令センターを四日市市消防本部と共同で桑名市消防本部庁舎内に整備し、３部制で業務を開始
８月10日	消防本部の訓練指導車を更新
12月１日	東員分署の化学消防ポンプ自動車Ⅱ型「東員４」を更新
平成20年１月７日	員弁南分署の水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ－Ａ型「員弁南１」を更新
１月16日	消防署に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型「桑名３」を配備
２月１日	消防署の高規格救急車「救急桑名１」を更新
４月１日	市条例消防職員定数を246名に改正

平成20年４月１日	桑名市多度町香取にあった多度分署を多度町小山1243番地に移転､同日から分署長以下 13 名を配置し、水槽付消防ポンプ自動車１台、消防ポンプ自動車ＣＤ－１型１台、可搬ポンプ積載車１台、高規格救急自動車１台、防災指導車１台、自家発電設備、太陽電池発電所、雨水利用防火水槽、自家給油所の装備で業務を開始 建築面積　1,099.45㎡　延面積　1,334.14㎡ 敷地面積　3,913.69㎡　訓練塔高　　12.00m
４月17日	桑名防火協会から査察車（トヨタサクシード）の寄贈を受け、消防本部に配備
８月19日	新型防火衣を全職員に配備
平成21年２月９日	員弁北分署の水槽付消防ポンプ自動車Ｉ－Ａ型「員弁北１」を更新
２月10日	消防署の積載車「桑名６」を更新
９月１日	全国瞬時警報システム（J－ALERT）を消防署に整備
平成22年２月５日	西分署、員弁南分署の高規格救急車「救急桑名２、救急員弁２」を更新
８月27日	京都市で行われた第 39 回全国消防救助大会に「ほふく救出」が三重県代表として出場
平成23年３月26日	石榑トンネル開通に伴い、東近江行政組合、いなべ市と消防相互応援協定を締結
３月28日	員弁南分署を増改築
３月31日	員弁南分署に支援車Ⅱ型「員弁南51」を配備
４月１日	十七代目消防長が就任
４月１日	消防本部の組織機構を一部改正し通信指令室、防災指導センターを課に改めた 消防署の組織機構を一部改正し指揮体制を桑名方面と員弁方面に分け、各方面に方面隊長を配置。消防署の体制を２係制から３係制に変更
11月９日	東日本大震災に際し、緊急消防援助隊を出場させたことにより、「消防職団員への感謝の集い」に係る総務大臣表彰を受ける
平成24年２月25日	消防本部に新型車両（多目的緊急自動車）配備
８月７日	東京都で行われた第41回全国消防救助大会に「はしご登はん」「ロープ応用登はん」が三重県代表として出場
平成25年１月29日	西分署、多度分署の水槽付消防ポンプ自動車Ｉ－Ａ型（桑名西１、多度１）を消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型（小型水槽CAFS付）に更新 消防署の高規格救急車「救急桑名４」を更新
２月14日	「資機材搬送車」の無償使用を開始（総務省消防庁）
８月22日	広島県で行われた第 42 回全国消防救助大会に「ほふく救出」「はしご登はん」「ロープ応用登はん」が三重県代表として出場
12月３日	員弁南分署の救助工作車Ⅱ型「員弁南41」を更新
12月４日	員弁北分署の高規格救急車「救急員弁３」を更新
平成26年１月15日	消防署の高規格救急車「救急桑名５」を更新
２月７日	消防署、長島木曽岬分署の消防ポンプ自動車ＣＤ-Ｉ型（桑名２、長島２）を消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型（小型水槽CAFS付）に更新
４月１日	十八代目消防長が就任

平成 26 年８月 27 日	「ロープブリッジ渡過」「ロープ応用登はん」「溺者搬送」の各種目において第 43 回全国消防救助大会東海地区代表に決定したが、広島市で発生した大雨に起因する土砂災害により全国大会は中止となる
平成 27 年１月 16 日 ４月１日 ８月 29 日	長島木曽岬分署、東員分署の高規格救急車「救急長島１、救急員弁１」を更新 市条例消防職員定数を 252 名に改正 消防本部の組織機構を一部改正し、消防課を消防救急課、消防係を消防救助係、救急係を救急管理係、指導係を普及啓発係に改め、予防課に指導係を加えた 兵庫県で行われた第 44 回全国消防救助大会に「ロープ応用登はん」が三重県代表として出場
平成 28 年２月 16 日 ４月１日 ８月 24 日	大山田分署、多度分署の高規格救急車「救急桑名３、救急多度１」を更新 十九代目消防長が就任 消防本部、消防署の組織改編に伴い、指揮調査課を新設し、員弁南分署をいなべ消防署、東員分署を東員消防署とした。消防署の勤務体制を３係制から２係制に変更 消防救急デジタル無線への移行に伴い、四日市市消防本部及び菰野町消防本部と共同で四日市市中消防署中央分署内において「三重北消防指令センター」として運用開始 愛媛県で行われた第 45 回全国消防救助大会に「ロープ応用登はん」が三重県代表として出場
平成 29 年１月 11 日 ４月１日 ８月 23 日	いなべ消防署北分署の小型動力ポンプ付軽四輪駆動積載車（いなべ北 71）を更新 防災指導課が市長直轄組織防災・危機管理課へ統合 宮城県で行われた第 46 回全国消防救助大会に「ほふく救出」が三重県代表として出場
平成 30 年１月 24 日	桑名市消防署の高規格救急車「救急桑名１」を更新

消　防　の　現　勢

（平成 30 年４月１日現在）

管内市町の位置

桑名市消防機関の配置図

庁舎施設概要

１．消防本部・桑名市消防署

所 在 地　〒511-0836　桑名市大字江場７番地
構　　造　鉄筋コンクリート造３階建（一部２階建）
敷地面積　7,896.53 ㎡
建築面積　2,316.82 ㎡（訓練棟・救急消毒室・別棟車庫含む）
建築延面積　5,248.88 ㎡（　　〃　　）
竣　　工　平成５年 11 月
移　　転　平成６年２月１日
TEL［本部］　０５９４（２４）０１１９
FAX［本部］　０５９４（２４）５２８７
TEL［ 署 ］　０５９４（２４）５２８４

２．西分署

所 在 地　〒511-0934　桑名市大字赤尾 2107 番地２
構　　造　鉄筋コンクリート造２階建
敷地面積　4,000.02 ㎡
建築面積　1,104.98 ㎡（訓練棟含む）
建築延面積　1,389.19 ㎡（　〃　）
竣　　工　平成 18 年３月
移　　転　平成 18 年４月１日
Ｔ Ｅ Ｌ　０５９４（３２）５９９９
Ｆ Ａ Ｘ　０５９４（３２）６００１

３．大山田分署

所 在 地　〒511-0903　桑名市大山田１丁目７番地１
構　　造　鉄筋コンクリート造２階建
敷地面積　1,811.99 ㎡
建築面積　408.23 ㎡
建築延面積　533.35 ㎡
竣　　工　昭和 57 年３月
開　　設　昭和 57 年４月１日
Ｔ Ｅ Ｌ　０５９４（３１）５５６４
Ｆ Ａ Ｘ　０５９４（３１）９８９０

４．多度分署

所 在 地　〒511-0105　桑名市多度町小山 1243 番地
構　　造　鉄筋コンクリート造２階建
敷地面積　3,913.69 ㎡
建築面積　1,099.45 ㎡（訓練棟・救急消毒室含む）
建築延面積　1,334.14 ㎡（　　〃　　）
竣　　工　平成 20 年３月
移　　転　平成 20 年４月１日
Ｔ Ｅ Ｌ　０５９４（４８）３１９９
Ｆ Ａ Ｘ　０５９４（４８）５６９９

５．長島木曽岬分署

所 在 地　〒511-1122　桑名市長島町松ヶ島 43 番地
構　　造　鉄筋コンクリート造２階建
敷地面積　1,725.00 ㎡
建築面積　604.39 ㎡（訓練棟・救急消毒室含む）
建築延面積　867.50 ㎡（　　〃　　）
竣　　工　昭和 59 年 11 月
開　　設　昭和 59 年 11 月１日
Ｔ Ｅ Ｌ　０５９４（４２）３６５１
Ｆ Ａ Ｘ　０５９４（４２）３８６９

６．いなべ消防署

所 在 地　〒511-0272　いなべ市大安町高柳 418 番地
構　　造　鉄筋コンクリート造２階建
敷地面積　3,535.480 ㎡
建築面積　849.572 ㎡（訓練棟・救急消毒室含む）
建築延面積　1120.907 ㎡（　　〃　　）
竣　　工　平成３年２月
開　　設　平成３年３月１日
Ｔ Ｅ Ｌ　０５９４（７８）１９９９
Ｆ Ａ Ｘ　０５９４（７８）２７４４

７．北分署

所 在 地　〒511-0417　いなべ市北勢町瀬木 50 番地 10
構　　造　鉄筋コンクリート造２階建他１棟
敷地面積　3,080.000 ㎡
建築面積　729.702 ㎡（訓練棟・救急消毒室含む）
建築延面積　1,137.731 ㎡（　　〃　　）
竣　　工　平成３年２月
開　　設　平成３年３月１日
Ｔ Ｅ Ｌ　０５９４（７２）６５９９
Ｆ Ａ Ｘ　０５９４（７２）４２００

８．東員消防署

所 在 地　〒511-0242　員弁郡東員町大字六把野新田 86 番地１
構　　造　鉄筋コンクリート造２階建
敷地面積　2,707.870 ㎡
建築面積　696.089 ㎡（訓練棟・救急消毒室含む）
建築延面積　927.070 ㎡（　　〃　　）
竣　　工　昭和 61 年 11 月
開　　設　昭和 61 年 11 月１日
Ｔ Ｅ Ｌ　０５９４（７６）７５９９
Ｆ Ａ Ｘ　０５９４（７６）９８９０

一目消防概要

管内人口　［２市２町］	218,500人			
管内面積　［２市２町］	394.93ｋ㎡			
署所数　［２市２町］	３署５分署			
消防予算　［当初予算］	2,795,545千円			
消防職員数	定員	252人	実員	255人 （含消防長・事務吏員）
消防団員数　［桑名市］	定員	776人	実員	670人

消防車両			
［常　備］	計58台	梯子付消防ポンプ自動車	1台
		梯子付消防自動車	1台
		化学消防ポンプ自動車	3台
		水槽付消防ポンプ自動車	5台
		消防ポンプ自動車	10台
		小型動力ポンプ付水槽車	2台
		小型動力ポンプ付積載車	3台
		救急自動車	10台
		救助工作車	2台
		その他の車両	21台
［非常備］（桑名市）	計28台	消防ポンプ自動車	2台
		小型動力ポンプ付積載車	24台
		その他の車両	2台

消防水利　［桑名市］	消火栓	3,294基	防火水槽	406基
消防水利　［受託市町］	消火栓	2,991基	防火水槽	771基

区分	平成29年（A）	平成28年（B）	増減（A）－（B）
☆　火災			
火災発生件数　（件）	61	50	11
損害額　（千円）	136,984	149,979	−12,995
建物焼損面積　（㎡）	1,929	2,147	−218
り災世帯数　（世帯）	20	29	−9
最も多かった火災原因	たき火 （21%）	放火 （12%）	
☆　救急			
救急出場件数　（件）	8,942	8,726	216
搬送人員　（人）	8,414	8,160	254
救助出場件数　（件）	74	80	−6
☆　防火対象物数　（件）	6,883	6,925	−42
☆　危険物施設数　（件）	1,061	1,081	−20
☆　建築同意数　（件）	323	300	23

※管内情勢、人員、装備、水利は平成30年４月１日現在
※火災、救急、防火対象物、危険物施設、建築同意は各年中統計

管内情勢

１．市制施行年月日	昭和12年4月1日
２．消防本部設置年月日	昭和24年10月1日
３．消防署設置年月日	昭和34年9月30日
４．多度町消防事務受託年月日	昭和45年4月1日
５．長島町・木曽岬消防事務受託年月日	昭和59年4月1日
６．東員町消防事務受託年月日	昭和61年4月1日
７．北勢町・員弁町・大安町・藤原町消防事務受託年月日	平成元年9月29日
８．いなべ市合併（員弁町、北勢町、大安町、藤原町）年月日	平成15年12月1日
９．桑名市合併（桑名市、多度町、長島町）年月日	平成16年12月6日

市町別の面積・世帯数・人口

（平成30年４月１日現在）

区分 市町別	面積 （ｋ㎡）	世帯数 （世帯）	人口		
			計（人）	男（人）	女（人）
桑名市	136.68	58,586	142,791	70,493	72,298
いなべ市	219.83	16,503	43,746	21,981	21,765
木曽岬町	15.74	2,442	6,361	3,227	3,134
東員町	22.68	9,506	25,602	12,640	12,962
合計	394.93	87,037	218,500	108,341	110,159

消防相互応援協定状況

名称	施行年月日	協定締結団体名
桑名市・海部南部消防組合消防相互応援協定	昭和63年1月1日	海部南部消防組合
国道306号線消防相互応援協定	平成6年8月1日	彦根市消防本部
高速自動車国道近畿自動車道名古屋・関線、名古屋神戸線、伊勢線及び尾鷲勢和線消防相互応援協定	平成17年1月1日	三重県６市７町 ２広域消防組合
高速道路における消防相互応援協定	平成18年4月1日	海部南部消防組合
東海三県境地域消防相互応援協定	平成18年12月27日	愛西市・海津市
三重県内消防相互応援協定	平成19年3月1日	三重県下市町村等
石榑トンネルにかかる消防相互応援協定	平成23年3月26日	東近江行政組合、いなべ市

消防予算の推移（当初予算）

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
消防予算	3,313,877 千円	2,651,472 千円	2,766,542 千円	2,795,545 千円
増減	28.1 %	△ 20.0 %	4.3 %	1.0 %

※　消防予算には、水防費、災害対策費および分署建設費は含まない

平成30年度消防予算（当初予算）

（単位：千円）

目 節	常備 消防費	多度分署 消防費	長島木曽岬 分署消防費	いなべ消防署 消防費	東員消防署 消防費	非常備 消防費	計
報酬						27,340	27,340
給料	597,987	51,274	83,531	181,857	87,377		1,002,026
職員手当等	565,303	53,393	79,770	161,310	83,357		943,133
共済費	212,908	19,045	30,098	66,939	32,673		361,663
災害補償費						300	300
賃金	1,029						1,029
報償費	40			20	20	15,968	16,048
旅費	2,705	43	43	325	235	31,745	35,096
交際費						160	160
需用費	45,282	4,450	6,637	15,598	6,902	7,743	86,612
役務費	7,024	651	967	2,196	1,142	1,463	13,443
委託料	18,753	1,169	1,002	1,902	679	356	23,861
使用料及び賃借料	10,510	653	1,109	2,289	982	1,008	16,551
工事請負費							
原材料費					20	20	40
公有財産購入費							
備品購入費	57,567	1,782		35,977	37,396		132,722
負担金、補助及び交付金	79,212	13	13	26	13	17,887	97,164
補償、補填及び賠償金							
償還金、利子及び割引料		16,879	13,481	4,798	1,171		36,329
公課費	771	105	121	251	240	540	2,028
合計	1,599,091	149,457	216,772	473,488	252,207	104,530	2,795,545

消防本部・消防署の組織

消　防　長
◎消防本部　５課
消　防　本　部
総　務　課
管理係
企画装備係
消 防 救 急 課
消防救助係
救急管理係
予　防　課
予防係
危険物係
指導係
通 信 指 令 課
通信指令第1係
通信指令第2係
通信指令第3係
指 揮 調 査 課
指揮第1係
（桑名・木曽岬担当）
指揮第2係
（桑名・木曽岬担当）
指揮第1係
（いなべ・東員担当）
指揮第2係
（いなべ・東員担当）
◎消防署　３署５分署
桑名市消防署
消防第1係
救助第1係
救急第1係
消防第2係
救助第2係
救急第2係
西　分　署
消防第1係
消防第2係
大 山 田 分 署
消防第1係
消防第2係
多 度 分 署
消防第1係
消防第2係
長島木曽岬分署
消防第1係
消防第2係
いなべ消防署
消防第1係
消防第2係
北　分　署
消防第1係
消防第2係
東 員 消 防 署
消防第1係
消防第2係

消防本部・消防署事務分掌

○　総務課

(1)　公印の管理に関すること。
(2)　消防庶務に関すること。
(3)　職員の人事、給与、研修、福利厚生、表彰等に関すること。
(4)　文書の収受、発送及び保存に関すること。
(5)　条例、規則、告示、広告等に関すること。
(6)　諸会議に関すること。
(7)　消防施設、装備等の整備保全に関すること。
(8)　公務災害補償に関すること。
(9)　組織運営の調整に関すること。
(10)　消防計画に関すること。
(11)　消防統計の編集及び広報広聴に関すること。
(12)　消防水利施設に関すること。
(13)　消防団に関すること。
(14)　他の課に属しないこと。
(15)　前各号に掲げるもののほか、特に命ぜられた事項。

○　消防救急課

(1)　消防職員及び団員の教養訓練に関すること。
(2)　消防職員の服務規律に関すること。
(3)　警防本部に関すること。
(4)　消防機械器具の運用保全に関すること。
(5)　警防及び救助業務に関すること。
(6)　救急業務に関すること。
(7)　緊急消防援助隊に関すること。
(8)　高速道路連絡協議会に関すること。
(9)　消防広域応援に関すること。
(10)　前各号に掲げるもののほか、特に命ぜられた事項。

○　予防課

(1)　火災予防思想の普及に関すること。
(2)　桑名市火災予防条例(平成16年桑名市条例第163号)に関すること。
(3)　防火管理に関すること。
(4)　防火対象物等の立入検査に関すること。
(5)　消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
(6)　火災原因及び損害の調査に関すること。
(7)　建築確認等の消防同意に関すること。
(8)　危険物製造所等の立入検査に関すること。
(9)　危険物製造所等の許認可、承認及び届出に関すること。
(10)　危険物及び危険物災害の調査に関すること。
(11)　ガス用品及び液化石油ガス器具等の立入検査等に関すること。
(12)　前各号に掲げるもののほか、特に命ぜられた事項。

○　通信指令課

(1)　火災、救急その他災害の情報及び出場指令に関すること。
(2)　消防通信の統制に関すること。
(3)　消防通信施設の維持管理に関すること。
(4)　通信技術の訓練に関すること。
(5)　気象観測に関すること。
(6)　前各号に掲げるもののほか、特に命ぜられた事項。

○　指揮調査課

(1)　警防活動業務の情報の収集及び提供に関すること。
(2)　消防活動部隊の安全管理及び消防指揮に関すること。
(3)　火災警戒区域に関すること。
(4)　現場広報に関すること。
(5)　火災の原因及び損害の調査に関すること。
(6)　火災統計に関すること。
(7)　り災証明に関すること。
(8)　前各号に掲げるもののほか、特に命ぜられた事項

○　消防署　分署

(1)　水火災の警戒防御並びに救急及び救助に関すること。
(2)　消防及び防災訓練並びに警防計画に関すること。
(3)　消防施設、機械器具等の保全及び点検に関すること。
(4)　消防水利に関すること。
(5)　火災の原因及び損害調査並びにその他災害の調査に関すること。
(6)　火災予防思想の普及に関すること。
(7)　り災証明に関すること。
(8)　救急搬送証明に関すること。
(9)　桑名市火災予防条例（平成16年桑名市条例第163号）に関すること。
(10)　前各号に掲げるもののほか、特に命ぜられた事項

歴代消防長

歴代	氏名	在職年数	在職年月日	備考
初　　代	林　　光　男	５年７月	昭和 24. 10. １～昭和 30. ４. 31	兼務
二　　代	橡　尾　清太郎	４年２月	昭和 30. ５. １～昭和 34. ７. 12	〃
三　　代	伊　藤　亮　吉	９年８月	昭和 34. ７. 13～昭和 44. ３. 31	専任
四　　代	小　林　金　蔵	７年０月	昭和 44. ４. １～昭和 51. ４. ４	〃
五　　代	水　谷　郁　夫	11 年２月	昭和 51. ４. ５～昭和 62. ５. 31	〃
六　　代	鈴　木　聖　三	１年５月	昭和 62. ６. ２～昭和 63. 10. 30	〃
七　　代	栗　田　浩　司	０年 11 月	昭和 63. 11. １～平成元. ９. 30	〃
八　　代	飯　田　　努	１年８月	平成元. 10. １～平成３. ５. 31	〃
九　　代	栗　田　浩　司	１年４月	平成３. ６. １～平成４. ９. 30	〃
十　　代	安　藤　良　一	０年６月	平成４. 10. １～平成５. ３. 31	〃
十　一　代	久保田　善　之	３年０月	平成５. ４. １～平成８. ３. 31	〃
十　二　代	須　川　昌　宏	１年０月	平成８. ４. １～平成９. ３. 31	〃
十　三　代	水　谷　　廣	３年０月	平成９. ４. １～平成 12. ３. 31	〃
十　四　代	松　下　和　夫	５年０月	平成 12. ４. ４～平成 17. ３. 31	〃
十　五　代	谷　口　　勝	２年０月	平成 17. ４. １～平成 19. ３. 31	〃
十　六　代	佐　藤　久　善	４年０月	平成 19. ４. １～平成 23. ３. 31	〃
十　七　代	安　藤　大　觀	３年０月	平成 23. ４. １～平成 26. ３. 31	〃
十　八　代	伊　藤　治　雄	２年０月	平成 26. ４. １～平成 28. ３. 31	〃
十　九　代	郡　　裕　章		平成 28. ４. １～	〃

消防本部・消防署の職員現勢

（階級別）　　（平成30年４月１日現在）

所属＼階級		計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
消防本部	消防長	1	1								
	消防次長	1									1
	総務課	12			2	1	5	1		1	2
	消防救急課	7			1	2	2	1	1		
	予防課	13		1		3	7	1			1
	通信指令課	10			1	6	3				
	指揮調査課	23			4	4	8	7			
	本部付	2						1		1	
	出向・派遣	2					1	1			
	小計	71	1	1	8	16	26	12	1	2	4
消防署	桑名市消防署	38		1	1	6	8	14		8	
	西分署	13			1	2	4	4		2	
	大山田分署	23			1	2	6	12		2	
	多度分署	13			1	2	4	4		2	
	長島木曽岬分署	22			1	2	6	11		2	
	いなべ消防署	23		1		2	8	10		2	
	北分署	23			1	2	6	9	1	4	
	東員消防署	23		1		2	8	8		4	
	小計	178	0	3	6	20	50	72	1	26	0
消防学校入校		6								6	
合計		255	1	4	14	36	76	84	2	34	4

※その他の職員には、桑名市役所からの出向、再任用を含む

（勤務形態別）

勤務形態	消防本部・消防署				航空隊派遣	救命士研修所入所	消防学校入校	消防学校教官派遣
	消防正監		桑名市役所から出向	再任用				
人員数	1	244	2	3	1	2	6	1

255（全職員）

階級別勤続年数状況

（平成30年４月１日現在）

年数	計 ＼ 階級	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
	251	1	4	14	36	76	84	2	34
平均	20.7	37.0	36.8	32.9	32.1	24.9	16.3	22.5	2.7
1年未満	6								6
1	5								5
2	8								8
3	5								5
4	2								2
5	3								3
6	3								3
7	6						5		1
8	11						10		1
9	3						3		
10	11						11		
11	7						7		
12	7						7		
13	4						4		
14	8					3	5		
15	7					4	3		
16	2					2			
17	2					2			
18	4					4			
19	4					4			
20									
21									
22	6					3	2	1	
23	7				1	3	2	1	
24	12				2	7	3		
25	11					5	6		
26	9					4	5		
27	12			1	3	7	1		
28	21			1	5	11	4		
29	1			1					
30	2				1	1			
31	13			1	5	6	1		
32	10			2	1	6	1		
33	3		1		2				
34	16			3	7	4	2		
35	5		1	2	1		1		
36	2			2					
37	4	1			3				
38	5			1	3		1		
39	1		1						
40	2		1		1				
41年以上	1				1				

階級別年齢状況

（平成30年４月１日現在）

年齢	階級／計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
	251	1	4	14	36	76	84	2	34
平均	42.3	59.0	57.8	53.8	53.4	46.7	37.6	44.5	25.0
18	2								2
19									
20	1								1
21	1								1
22	3								3
23	3								3
24	5								5
25	7						1		6
26	1								1
27	3								3
28	5								5
29	7						4		3
30	8						8		
31	6						6		
32	2						2		
33	10						9		1
34	5					1	4		
35	6					1	5		
36	9					2	7		
37	8					1	7		
38	2					1	1		
39									
40	8					7	1		
41	1						1		
42	8					6	2		
43	8					4	4		
44	8				1	4	2	1	
45	13					9	3	1	
46	9					6	3		
47	5				1	3	1		
48	5				2	3			
49	7				3	3	1		
50	12			1	3	5	3		
51	7			1	3	2	1		
52	11			1	4	3	3		
53	11			3	2	4	2		
54	7			5	1		1		
55	4				1	3			
56	8			1	4	3			
57	9		1	1	2	4	1		
58	10		3	1	5	1			
59	5	1			4				
60歳以上	1						1		

消防職員教養研修状況

（平成30年４月１日現在）

機関名	科別		階級	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防大学校	総合教育		幹部科	16	1	2	8	5				
	専科教育		警防科	2				1	1			
			予防科	1			1					
			火災調査科	1				1				
			救急科	1		1						
			救助科	6		1	1	1	1	2		
三重県消防学校	消防職員		上級幹部科	4		1	1	2				
			中級幹部科	33		1	4	20	8			
			初級幹部科	70	1	2	7	13	35	12		
		特殊災害科	特殊災害課程	13			1	6	5	1		
		警防科	警防課程	63			4	8	20	30	1	
		予防科	予防課程	16	1		1	7	4	3		
			危険物課程	33		2	4	5	17	5		
			査察課程	33		1	4	4	16	8		
			火災調査課程	47			5	13	18	11		
		救急科	救急科	56		3	12	19	17	5		
			救急Ⅰ課程（救急課程）	143			2	13	40	52	2	34
			救急Ⅱ課程	146		4	15	38	58	29	2	
			救急標準課程	45					19	26		
			資格補充講習	11	1	1	1	6	1	1		
		救助科	救助課程	81		1	4	13	39	23		1
			水難救助課程	28				4	7	16	1	
			水難指導員	3			1		1	1		
		特別科	はしご自動車講習会	64		2	4	17	29	12		
			薬剤投与講習	9				4	4	1		
	初任		初任科	255	1	4	15	38	77	84	2	34
養成所 名古屋	救急救命士養成教育			10			1	1	3	4		1
研修所 東京	救急救命士養成課程			22		1		6	9	6		
研修所 九州	救急救命士養成課程			11			2	4	5			
	薬剤投与追加講習			6				3	2	1		
その他	救命士気管挿管病院実習			7			1	1	4	1		

消防職員消防関係資格取得状況

（平成30年４月１日現在）

種別		階級	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
自動車運転免許	普通免許		255	1	4	15	38	77	84	2	34
	大型免許		183		4	15	34	73	55	1	1
	大型特殊		18				3	7	8		
	けん引免許		14			3	2	5	4		
	自動二輪		84		3	7	12	32	30		
自動車整備士免許		３級	2					1	1		
		２級	1			1					
小型船舶操縦士免許			61	1	2	4	13	26	15		
危険物取扱者		甲種	2			1	1				
		乙種	174	1	2	11	20	42	72	1	25
		丙種	6			1	1	3	1		
消防設備士		甲種	1			1					
		乙種	9			3	3	2	1		
潜水士免許			54		1	4	9	18	19	1	2
救急救命士			49		1	3	11	16	16		2
救急隊員資格取得者			236	1	4	15	38	77	84	2	15
特殊無線技士免許			246	1	4	15	38	77	84	2	25
電話級アマチュア無線技士			18		1	5	8	3	1		
クレーン運転士免許			1			1					
移動式クレーン運転士免許			0								
小型移動式クレーン運転技能特例講習			246	1	4	15	38	75	83	2	28
玉掛技能講習			241	1	4	14	37	72	83	2	28
ガス・アーク溶接技能			164		2	4	23	69	64	2	
第二種酸素欠乏危険作業主任者技能講習			50		2	5	9	20	13	1	
足場組立等作業主任者			13		2	3	2	2	4		
高圧ガス製造保安責任者免許		乙種化学	0								
		特別丙化	34		2	5	10	10	7		
衛生管理者免許			12	1	1	2	3	5			
16mm映写技術者免許			22		1	4	9	8			
可搬式ポンプ等整備資格			1				1				
電気工事士免許			4			1		2	1		
２級ボイラー技士免許			2						2		
毒物・劇物取扱者			20			3	4	6	7		

消防本部・消防署車両の配置状況

（平成30年４月１日現在）

所属	車種	型別	車両番号	年式	メーカー	ポンプ能力	備考
消防本部・桑名市消防署	水槽付消防ポンプ自動車	水Ⅰ－Ａ型	三重800 さ19-22	H12.2.2	日野	Ａ－２	水1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ⅰ型	三重800 す94-12	H26.2.5	トヨタ	Ａ－２	CAFS搭載 水600ℓ
	化学消防ポンプ自動車	Ⅳ型	三重831 て　119	H17.3.25	日野	Ａ－２	薬1,600ℓ水2,000ℓ 粉末100kg
	小型動力ポンプ付水槽車	Ⅱ型	三重800 ひ　　5	H18.12.5	日野	Ｂ－２	水10,000ℓ
	資器材搬送車		三重800 す86-81	H25.2.13	三菱		無償使用物品 (H34.3.31まで)
	救助工作車	Ⅱ型	三重800 は　437	H14.2.26	日野		４ＷＤ
	指揮車		三重830 す　987	H17.11.28	トヨタ		
	指令車		三重800 さ12-55	H11.10.13	トヨタ		
	防災パトロール車		三重800 さ30-07	H12.7.21	トヨタ		
	消防広報車		三重500 つ65-78	H12.6.27	日産		
	査察車		三重501 め15-34	H20.4.17	トヨタ		桑名防火協会寄贈
	予防広報車		三重300 ぬ13-47	H14.7.30	トヨタ		
	救急自動車	高規格	三重800 せ23-08	H30.1.10	トヨタ		４ＷＤ
	救急自動車	高規格	三重800 さ86-47	H25.1.23	トヨタ		４ＷＤ
	救急自動車	高規格	三重800 す93-62	H26.1.10	トヨタ		４ＷＤ
	資機材搬送車		三重88 ま　　17	H8.10.4	トヨタ		
	査察車		三重800 ぬ79-88	H24.2.21	トヨタ		
	マイクロバス		三重200 さ　812	H16.10.15	日野		
	連絡車		三重581 そ　5290	H27.7.31	ﾀﾞｲﾊﾂ		
西分署	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ⅰ型	三重800 す86-39	H25.1.22	トヨタ	Ａ－２	CAFS搭載 水600ℓ
	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ⅰ型	三重88 ま23-83	H9.11.7	三菱	Ａ－２	
	救急自動車	高規格	三重832 そ　119	H22.1.12	日産		４ＷＤ
	防災指導車		三重41 ゆ41-17	H11.9.10	スズキ		
大山田分署	化学消防ポンプ自動車	Ⅰ型	三重800 は15ー91	H22.12.3	日野	Ａ－２	薬　300ℓ 水1,200ℓ
	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ⅰ型	三重800 す45-83	H20.1.10	日野	Ａ－２	
	屈折梯子付消防ポンプ自動車		三重800 は　694	H15.12.12	日野	Ａ－２	16.2m
	救急自動車	高規格	三重800 せ　882	H28.2.2	トヨタ		４ＷＤ
	防災指導車		三重41 も12-06	H10.9.3	ダイハツ		

所属	車種	型別	車両番号	年式	メーカー	ポンプ能力	備考
多度分署	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ⅰ型	三重800 す86-40	H25.1.22	トヨタ	Ａ－２	CAFS搭載 水600ℓ
	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ⅰ型	三重88 ま57-38	H11.2.19	三菱	Ａ－２	
	小型動力ポンプ積載車		三重88 ほ83-73	H7.11.28	トヨタ	Ｂ－３	可搬　４ＷＤ
	救急自動車	高規格	三重800 せ　883	H28.2.2	トヨタ		４ＷＤ
	防災指導車		三重480 て91-33	H28.7.25	ダイハツ		
長島木曽岬分署	水槽付消防ポンプ自動車	水Ⅰ－Ａ型	三重800 さ19-21	H12.2.2	日野	Ａ－２	水1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ⅰ型	三重800 す94-13	H26.2.5	トヨタ	Ａ－２	CAFS搭載 水600ℓ
	梯子付消防自動車		三重830 す　31	H17.10.13	日野		30.8m
	積載車		三重800 す55-76	H21.2.9	三菱		
	指令車		三重88 ま　65	H8.10.11	トヨタ		
	救急自動車	高規格	三重800 せ　79	H27.1.9	トヨタ		４ＷＤ
いなべ消防署	水槽付消防ポンプ自動車	水Ⅰ－Ａ型	三重800 す45-84	H20.1.11	日野	Ａ－２	水1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ⅰ型	三重83 1 さ　119	H16.12.2	日野	Ａ－２	
	小型動力ポンプ積載車		三重80 あ18-04	H9.1.23	ホンダ	Ｂ－３	可搬
	救助工作車	Ⅱ型	三重800 は18-31	H25.11.28	日野		４ＷＤ
	指揮車		三重830 た　51	H23.3.30	トヨタ		４ＷＤ
	指令車		三重800 さ67-95	H14.7.24	三菱		４ＷＤ
	救急自動車	高規格	三重832 せ　119	H22.1.12	日産		４ＷＤ
北分署	水槽付消防ポンプ自動車	水Ⅰ－Ａ型	三重831 り　119	H21.1.27	日野	Ａ－２	水1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ⅰ型	三重830 や　119	H16.2.2	三菱	Ａ－２	
	小型動力ポンプ積載車		三重880 あ21-51	H29.1.5	ダイハツ	Ｂ－３	可搬
	小型動力ポンプ付水槽車	Ⅱ型	三重88 ゆ13-73	H6.2.23	日野	Ｂ－２	水10,000ℓ
	指令車		三重800 さ52-03	H13.8.22	三菱		４ＷＤ
	救急自動車	高規格	三重800 す92-84	H25.11.28	トヨタ		４ＷＤ
東員消防署	化学消防ポンプ自動車	Ⅱ型	三重800 は13-18	H19.11.27	日野	Ａ－２	薬　500ℓ 水1,500ℓ
	消防ポンプ自動車	ＣＤ－Ⅰ型	三重800 さ19-04	H12.1.31	三菱	Ａ－２	
	クレーン付積載車		三重800 さ31-99	H12.8.24	三菱		タダノ製
	水槽付消防ポンプ自動車	水Ⅰ－Ａ型	三重88 ま56-32	H11.2.5	日野	Ａ－２	水1,500ℓ
	指令車		三重800 さ52-02	H13.8.22	三菱		
	救急自動車	高規格	三重800 せ　80	H27.1.9	トヨタ		４ＷＤ

消防資機材一覧表

（平成30年４月１日現在）

種別	所属別	合計	本部 桑名市消防署	西分署	大山田分　署	多度分署	長島 木曽岬分署	いなべ消防署	北分署	東員消防署
放水関係	ホース65㎜（耐圧1.6）	593	98	50	67	60	70	70	88	90
	ホース40㎜（耐圧1.6）	279	51	20	36	23	35	35	34	45
	放水銃	4	1	1	1					1
	ガンタイプノズル	31	5	2	4	2	4	4	4	6
	簡易発泡器	2			2					
	泡ノズル	14	4		3			1	1	5
	ＣＡＦＳノズル	8	2	2		2	2			
	小型動力ポンプ	2				1		1		
	軽量小型ポンプ	3				2			1	
	ジェットシューター	27	2		3	5	2	3	8	4
	組立式水そう	8	2			1	1	1	2	1
	Ａクラス泡消火薬剤（ℓ）	515	120	160		115	120			
	Ｂクラス泡消火薬剤（ℓ）	3,120	1,860		320			100	100	740
救助関係	鍵付はしご	9	2	1	1	1	2	2		
	三連はしご	17	3	1	1	1	2	4	2	3
	ワイヤーはしご	1	1							
	空気式救助マット	2	1					1		
	救命索発射銃	1						1		
	救助用担架	10	1		1	1	1	3	2	1
	電動式簡易救助器具	7	1	1	1	1	1		1	1
	大型油圧スプレッダー	2	1					1		
	大型油圧カッター	2	1					1		
	可搬式ウィンチ	19	3	2	2	2	2	4	2	2
	スケッドストレッチャー	5				1		2	2	
	マット型空気ジャッキ	2	1					1		
	簡易画像探索機	2	1					1		
	熱画像直視装置	4	2					2		
	夜間用暗視装置	1	1							
	マンホール救助器具	4	1				1	2		
	緩降機	2	1					1		
	エンジンカッター	14	3	1	1	2	2	2	2	1
	ガス溶断器	2	1					1		
	チェーンソー	12	2	1	1	2	1	3	2	
	空気鋸	6	1	1	1	1	1		1	
	削岩機	7		1	1	1	1	2	1	
	ハンマードリル	3	2					1		
	エアツール	2	1					1		

種別	所属別	合計	本部 桑名市消防署	西分署	大山田分署	多度分署	長島木曽岬分署	いなべ消防署	北分署	東員消防署
水難救助関係	潜水器具一式	12	12							
	潜水ボンベ	19	19							
	救命胴衣	182	103	3	14	12	22	13	9	6
	救命浮環	37	16	2	2		7	6	3	1
	救命ボート	4	1			1	1			1
	船外機	3	2				1			
	水中投光器	3	3							
	水中通話装置	1	1							
保安器具	空気呼吸器	84	16	4	12	7	12	12	10	11
	空気ボンベ	257	70	12	28	15	25	49	27	31
	酸素呼吸器	7	5					2		
	酸素ボンベ	137	46	13	13	9	10	21	10	15
	簡易呼吸器	3	3							
	送排風機	3	2					1		
	防塵マスク	88	13	13	24			5	21	12
	防毒マスク	22	8		3			8	3	
	防毒衣	10		2	2	2			2	2
	耐電衣一式	9	3				3	3		
	化学防護服（簡易）	1,604	398	109	180	169	205	237	90	216
	陽圧式化学防護服	8	5					3		
	耐熱服	5	2							3
	放射線防護服	7	5					2		
	耐刃防止衣	24	6	3	3	3	3	3	3	
	検知器 可燃性ガス検知器	15	2	1	1	1	1	7	1	1
	検知器 有毒ガス測定器									
	検知器 酸素濃度測定器									
	放射線測定器	5	3					2		
	個人線量計	33	25					8		
	シットハーネス	25	4			2		13	6	
救急関係	手動式人工呼吸器（引金式）	4	1		1	1			1	
	自動式人工呼吸器	7	2		1		1	1	1	1
	電動式吸引器	16	4	1	2	2	1	2	2	2
	血中酸素飽和濃度測定器	15	4	2	2		1	2	2	2
	半自動体外式除細動器	10	3	1	1	1	1	1	1	1
	バックボード一式	29	7	3	3	3	3	4	3	3
	喉頭鏡	18	6	1	2	2	2	1	1	3
	ビデオ喉頭鏡	7	2	1	1		1	1		1
	エアーストレッチャー	15	3	1	3	2	1	1	3	1
	スクープストレッチャー	23	5	3	3	2	2	2	3	3
	布担架	29	7	2	4	3	4	3	3	3
	レスキューシート	23	6	2	3	2	4	2	2	2

種別＼所属別			合計	本部 桑名市 消防署	西分署	大山田 分　署	多度 分署	長島 木曽岬 分署	いなべ 消防署	北分署	東員 消防署
その他	二連はしご		8		1	1	1	1	1	2	1
	照明器具	投光器	22	4	1	2	2	4	5	2	2
		発電機（小型）	20	5	1	2	2	3	4	2	1
		発電機（大型）	2					1	1		
	煙体験ハウス		4				1	1	1		1
	発煙器		7	1		1	1	1	1	1	1
	滅菌器		6		1		1	1	1	1	1
	心肺器蘇生用訓練人形(成人)		29		4	3	3	2	8	6	3
	〃　ジュニア(幼児含)		12		2	1	2	1	2	2	2
	コンピュータ付訓練人形		2	2							
	空気ボンベ用コンプレッサー		2	1					1		

消防水利の現況

1　管径別消火栓　（平成30年4月1日現在）

管径＼市町別	計	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町
75φ	2,744	1,049	1,337	52	306
100φ	2,036	1,333	308	40	355
125φ	22	16	6		
150φ	1,075	663	215	17	180
200φ	296	158	77		61
250φ	68	42	21		5
300φ	25	15	5		5
350φ	6	6			
400φ	13	12	1		
合計	6,285	3,294	1,970	109	912

※ 75φに50φも含む

2　容積別防火水槽

容積・種別＼市町別		計	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町
20㎥未満	地下式	23	1	1	10	11
	露天式	68	2		62	4
20～40㎥	地下式	55	9	35	1	10
	露天式	43	36	7		
40～60㎥	地下式	884	274	495	30	85
	露天式	63	52	5	3	3
60～80㎥	地下式	22	16	3		3
	露天式	4	4			
80～100㎥	地下式	5	4			1
	露天式	4	4			
100㎥以上	地下式	2	2			
	露天式	4	2	2		
合計		1,177	406	548	106	117

3　その他の水利

区分＼市町別	計	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町
河川等	750	374	160	116	100
プール	72	43	21	2	6

※河川等は消防水利の基準第5条を参考に計上

火　災　統　計

（平成 30 年中統計）

市町別火災状況

（平成29年中）損害額単位：千円

区分＼市町別			桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	合計
火災件数			38	16	3	4	61
火災種別	建物	件数	18	4	1	3	26
		損害額	35,352	96,804		2,858	135,014
	林野	件数	4	2			6
		損害額	53	10			63
	車両	件数	5	4			9
		損害額	557	1,131			1,688
	船舶	件数					
		損害額					
	航空機	件数					
		損害額					
	その他	件数	11	6	2	1	20
		損害額	198	16		5	219
損害額（千円）			36,160	97,961		2,863	136,984
爆発		件数					
		損害額					
焼損棟数	全焼		4			1	5
	半焼		2				2
	部分焼		8	3	1	2	14
	ぼや		11	1			12
建物焼損面積（㎡）			531	1,268		130	1,929
建物焼損表面積（㎡）			51	3	1	24	79
林野焼損面積（a）			7	8			15
り災世帯			17	1		2	20
り災人員			48	2		6	56
死傷者	死者					1	1
	負傷者		10	1			11

※（ ）は爆発件数。

時間別発生件数

（平成29年中）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明
件数	1	0	0	1	1	1	1	2	2	1	3	7	6	7	2	8	6	5	1	2	1	0	1	1	1

月別火災状況

（平成29年中）

区分 ＼ 月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災の種別	建物	3	3	4	1	2	1	3	1	4		2	2	26
	林野			1		1	4							6
	車両		3	1		1	2				1		1	9
	船舶													
	航空機													
	その他	1	3	3	3	3	3		1	2			1	20
	合計	4	9	9	4	7	10	3	2	6	1	2	4	61
爆発														
死傷者	死者					1								1
	負傷者		1	2			2	1		4			1	11
り災世帯		4	4	2	1	1		1	1	4		1	1	20
り災人員		8	12	9	2	2		2	3	12		2	4	56

※「火災の種別」の「その他」には、枯草、ゴミ、廃車などの火災があります。

年次別火災状況

（各年中）

区分	年別	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平均
火災の種別	建物	32	36(1)	38	25	26	31.4
	林野	7	3	1	1	6	3.6
	車両	14	11	8	7	9	9.8
	船舶						
	航空機						
	その他	42	50	22	17	20	30.2
	合計	95	100(1)	69	50	61	75.0
爆発			1				0.2
死傷者	死者	5	3	6	3	1	3.6
	負傷者	7	5	17	4	11	8.8
り災世帯		31	20	26	29	20	25.2
り災人員		83	45	83	63	56	66.0

※「火災の種別」の「その他」には、枯草、ゴミ、廃車などの火災があります。

※（　）は爆発件数。

年次別出火原因件数

（各年中）

年別 原因別	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平均
たばこ	6	10	1	5		4.4
こんろ	5	2	3	2	2	2.8
かまど				1	1	0.4
風呂かまど						
炉	1	1				0.4
焼却炉			1		2	0.6
ストーブ	1	1	3		4	1.8
こたつ						
ボイラー						
煙突・煙道	1	1				0.4
排気管			1			0.2
電気機器・電気装置	2	5	4	2	2	3.0
電灯・電話等の配線	2					0.4
内燃機関	1			1	3	1.0
配線器具		1	1	2	3	1.4
火あそび	2	1	2	2	2	1.8
マッチ・ライター						
たき火	25	26	12	3	13	15.8
溶接機・溶断機	2	1	1		1	1.0
ローソク					1	0.2
衝撃の火花						
取灰						
火入れ				2		0.4
放火・放火の疑い	13	20	15	6	5	11.8
その他	17	22	12	13	15	15.8
不明	17	9	13	11	7	11.4
計	95	100	69	50	61	75.0

年次別の主な出火原因と件数

区分	平成25年（95件）		平成26年（100件）		平成27年（69件）		平成28年（50件）		平成29年（61件）	
１位	たき火	25件	たき火	26件	放火	15件	放火	6件	たき火	13件
２位	放火	13件	放火	20件	たき火	12件	たばこ	5件	放火	5件
３位	たばこ	6件	たばこ	10件	電気機器・電気装置	4件	たき火	3件	ストーブ	4件

※放火には、放火の疑いも含む
※「その他」と「不明」を除く

年次別火災損害額

（単位：千円）

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
合計	195, 134	99, 639	222, 237	149, 979	136, 984

年次別建物火災状況

（各年中）

区分＼年別		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平均
件数		32	36(1)	38	25	26	31.4
建物火災での主な出火原因	たばこ	3	5	1	5		3.5
	こんろ	5	2	3	2	2	2.8
	ストーブ	1	1	3		3	1.6
	放火・放火の疑い	4	6	7	1	1	3.8
損害額（千円）		170,816	82,462	215,544	134,585	135,014	147,684
死傷者	死者	4	3	6		1	2.8
	負傷者	6	5	17	1	11	8.0

※「建物火災での主な出火原因」は「その他」と「不明」を除いたもの。

※（　）は爆発件数。

※（　）は爆発件数。

過去の主な火災

発生年月日	場所	火災種別	火元用途	火災概要	死者
昭和48年6月26日	桑名郡多度町	建物	中学校	木造平屋建教室762㎡全焼類焼２棟1,946㎡	
昭和56年1月2日	桑名郡多度町	建物	小学校	木造平屋建486㎡全焼	
昭和61年4月30日	桑名郡多度町	建物	店舗付住宅	木造２階建一部３階606㎡全焼類焼全焼１棟391㎡、部分焼2棟	
平成3年4月7日	桑名市清水町	建物	寺院	木造建一部２階建480㎡全焼一部焼2棟	
平成4年8月14日	員弁郡大安町	建物	体育館	鉄筋コンクリート２階建1,332㎡全焼	
平成6年11月30日	員弁郡大安町	建物	住宅	木造一部鉄骨造186㎡全焼類焼4棟30㎡（全焼１、部分焼3）	2
平成11年2月9日	桑名郡木曽岬町	その他(爆発)	工事現場	不発爆弾（1ﾄﾝ）の爆発により、工事現場工作物、重機、通行車両、家屋8棟に被害	1
平成13年5月19日	桑名市播磨	航空機	航空機	セスナ機とヘリコプターが空中衝突し、墜落炎上　木造2階建住宅2棟全焼 セスナ機全壊　ヘリコプター全焼 死者6名（墜落死）	6
平成15年7月27日	桑名郡多度町	その他	RDF貯蔵ｻｲﾛ	ゴミ固形燃料（RDF)発電所の貯蔵サイロ爆発死者2名、負傷者5名	2
平成19年7月23日	員弁郡東員町	その他	危険物施設	屋外タンク７基焼損 負傷者1名	
平成24年11月5日	桑名市西別所	建物	店舗	飲食長屋店舗８棟299㎡全焼	
平成25年11月20日	員弁郡東員町	建物	住宅	木造一部軽量鉄骨造２階建住宅兼車庫208㎡全焼、類焼３棟、車２台、負傷者１名	2
平成27年5月27日	桑名市蛎塚新田	建物	倉庫	木造平屋建物置１棟208㎡全焼、類焼10棟、工作物、ケーブル、車３台	
平成27年9月27日	桑名市安永	建物	住宅	鉄骨造４階建住宅593㎡全焼、類焼５棟、負傷者５名	1
平成28年10月14日	桑名市今中町	建物	作業場	鉄骨造２階建作業場664㎡全焼類焼13棟、負傷者１名	

救　急　救　助　統　計

（平成 29 年中統計）

救急現況

（平成29年中）

区分	平成29年	１日平均
出場件数	8,942件	24.5件
搬送件数	8,330件	
不搬送件数	612件	
搬送人員	8,414人	23.1人
現場到着平均所要時間	7.9分	
医療機関収容 平均所要時間	35.4分	

１．　事故種別出場件数

２．　時間別出場件数

月・事故別救急出場状況

（平成29年中）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	3	7	7		5	5	3	1	2		2	5	40
自然災害													
水難事故	1	1				1	1	1		1			6
交通事故	48	48	49	56	38	61	64	68	50	65	56	65	668
労働災害	14	10	5	9	7	9	15	12	7	6	11	7	112
運動競技	1	2	1	2	2	3	2	2	3	2	4	1	25
一般負傷	169	112	106	87	131	104	108	133	109	107	103	136	1,405
加害	3	4	1	5		3	4	5	2	5	1	3	36
自損行為	5	5	6	6	5	5	6	3	7	7	3	4	62
急　病	590	452	454	425	473	427	531	532	394	464	444	479	5,665
転院搬送	85	64	89	66	78	70	66	68	66	70	57	105	884
その他	6	3	4	4	3	5	2	4	3	1	1	3	39
合計	925	708	722	660	742	693	802	829	643	728	682	808	8,942

年代別搬送人員

（平成29年中）

過去５年間の救急出場状況

（各年中）

区分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
急病	5, 119	5, 085	5, 283	5, 536	5, 665
交通事故	805	810	766	756	668
一般負傷	1, 149	1, 195	1, 314	1, 282	1, 405
その他	1, 168	1, 130	1, 177	1, 152	1, 204
合計	8, 241	8, 220	8, 540	8, 726	8, 942

市町別救急出場件数

（各年中）

区分	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
桑名市	5, 678	5, 661	5, 822	5, 977	6, 140
いなべ市	1, 499	1, 444	1, 568	1, 593	1, 563
木曽岬町	211	227	277	261	313
東員町	844	885	862	885	916
管外	9	3	11	10	10
合計	8, 241	8, 220	8, 540	8, 726	8, 942

傷病者の状況

（平成29年中）

事故種別 ＼ 年齢及び程度		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
事故種別搬送人員	火災		2		7	2	11	1	1		9	
	自然災害											
	水難事故				1		1			1		
	交通事故	1	24	76	425	163	689	8	36	110	535	
	労働災害				96	16	112	1	14	28	69	
	運動競技			15	11		26		1		25	
	一般負傷		137	66	284	840	1,327	10	144	378	795	
	加害			2	27	3	32			4	28	
	自損行為			2	39	4	45	5	2	13	25	
	急病	5	264	151	1,685	3,183	5,288	200	339	2,042	2,707	
	その他	36	15	6	257	569	883	19	196	587	81	
合計		42	442	318	2,832	4,780	8,414	244	733	3,163	4,274	

年齢別搬送人員

年齢区分について

△新生児－生後28日以内
△乳幼児－生後29日～６歳
△少　年－７歳～17歳
△成　人－18歳～64歳
△高齢者－65歳以上

傷病程度別搬送人員

傷病程度とは、初診時における医師の判断によるもの

◇死　亡－死亡が確認されたもの
◇重　症－三週間以上の入院加療
◇中等症－三週間未満の入院加療
◇軽　症－入院を要しないもの

市町別救急出場状況

（平成29年中）

区分		合計	救急事故種別														
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
													計	転院搬送	医師搬送	資材輸送	その他
全体	出場件数	8,942	40		6	668	112	25	1,405	36	62	5,665	923	884		23	16
	搬送件数	8,330	8		1	623	111	25	1,319	32	45	5,283	883	882			1
	不搬送件数	612	32		5	45	1		86	4	17	382	40	2		23	15
	搬送人員	8,414	11		1	689	112	26	1,327	32	45	5,288	883	882			1
桑名市	出場件数	6,140	26		4	436	51	18	1,004	23	46	3,813	719	683		23	13
	搬送件数	5,715	5		1	408	51	18	948	20	33	3,549	682	681			1
	不搬送件数	425	21		3	28			56	3	13	264	37	2		23	12
	搬送人員	5,763	8		1	445	51	19	952	20	33	3,552	682	681			1
いなべ市	出場件数	1,563	7			123	37	3	228	11	12	1,018	124	123			1
	搬送件数	1,447	1			113	37	3	210	10	9	941	123	123			
	不搬送件数	116	6			10			18	1	3	77	1				1
	搬送人員	1,463	1			126	38	3	211	10	9	942	123	123			
木曽岬町	出場件数	313	1		1	26	5		42	1	1	205	31	30			1
	搬送件数	297				23	4		40	1	1	198	30	30			
	不搬送件数	16	1		1	3	1		2			7	1				1
	搬送人員	301				25	4		41	1	1	199	30	30			
東員町	出場件数	916	5			76	19	4	131	1	3	628	49	48			1
	搬送件数	866	1			75	19	4	121	1	2	595	48	48			
	不搬送件数	50	4			1			10		1	33	1				1
	搬送人員	880	1			87	19	4	123	1	2	595	48	48			
管外	出場件数	10	1		1	7						1					
	搬送件数	5	1			4											
	不搬送件数	5			1	3						1					
	搬送人員	7	1			6											

署・分署別救急出場状況

（平成29年中）

区分		合計	救急事故種別														
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				
													計	転院搬送	医師搬送	資材輸送	その他
全体	出場件数	8,942	40		6	668	112	25	1,405	36	62	5,665	923	884		23	16
	搬送件数	8,330	8		1	623	111	25	1,319	32	45	5,283	883	882			1
	不搬送件数	612	32		5	45	1		86	4	17	382	40	2		23	15
	搬送人員	8,414	11		1	689	112	26	1,327	32	45	5,288	883	882			1
桑名市消防署	出場件数	2,867	18			202	24	5	428	12	20	1,686	472	447		22	3
	搬送件数	2,671	5			185	23	5	402	11	14	1,580	446	445			1
	不搬送件数	196	13			17	1		26	1	6	106	26	2		22	2
	搬送人員	2,697	8			202	23	6	404	11	14	1,583	446	445			1
西分署	出場件数	887	5			74	5	2	149	5	7	577	63	59			4
	搬送件数	826				69	5	2	141	4	4	542	59	59			
	不搬送件数	61	5			5			8	1	3	35	4				4
	搬送人員	833				75	5	2	142	4	4	542	59	59			
大山田分署	出場件数	1,473	3			110	13	6	242	5	12	928	154	147		1	6
	搬送件数	1,387				103	13	6	227	4	9	878	147	147			
	不搬送件数	86	3			7			15	1	3	50	7			1	6
	搬送人員	1,403				116	13	6	229	4	9	879	147	147			
多度分署	出場件数	524	2		2	32	10	1	104	1	4	334	34	33			1
	搬送件数	494	1			29	10	1	99	1	4	316	33	33			
	不搬送件数	30	1		2	3			5			18	1				1
	搬送人員	499	1			33	10	1	100	1	4	316	33	33			
長木分署	出場件数	804	2		4	62	2	4	133	1	4	545	47	47			
	搬送件数	723			1	61	2	4	126	1	3	478	47	47			
	不搬送件数	81	2		3	1			7		1	67					
	搬送人員	729			1	67	2	4	126	1	3	478	47	47			
いなべ消防署	出場件数	862	1			63	21	1	120	10	4	618	24	24			
	搬送件数	804	1			61	21	1	112	9	3	572	24	24			
	不搬送件数	58				2			8	1	1	46					
	搬送人員	814	1			70	22	1	112	9	3	572	24	24			
北分署	出場件数	599				45	13	1	93	1	7	348	91	90			1
	搬送件数	547				38	13	1	84	1	5	315	90	90			
	不搬送件数	52				7			9		2	33	1				1
	搬送人員	551				40	13	1	85	1	5	316	90	90			
東員消防署	出場件数	926	9			80	24	5	136	1	4	629	38	37			1
	搬送件数	878	1			77	24	5	128	1	3	602	37	37			
	不搬送件数	48	8			3			8		1	27	1				1
	搬送人員	888	1			86	24	5	129	1	3	602	37	37			

※長木分署は長島木曽岬分署の略

応急手当の普及啓発活動実施状況

傷病者の命を救い、社会復帰に導くために必要となる一連の行いを「救命の連鎖」といいます。「救命の連鎖」は、①「心停止の予防」、②「心停止の早期認識と通報」、③「心肺蘇生法とAEDの使用」、④「救急救命士や医師の救命処置と集中治療」の四つの輪で成り立ち、この輪が途切れることなくすばやくつながることで救命効果が高まります。

平成29年中に心肺機能停止状態で医療機関に搬送された方は225名です。このうち救急車が到着するまでに心肺蘇生法等が行われていたのは122件で、約54％の方に実施されておりました。

種別 / 年別	普通救命講習		上級救命講習		普及員講習		指導員講習	
	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数	受講人員	回数
平成25年	1,536	75	23	3	117	6	24	1
平成26年	1,645	65	22	2	118	6		
平成27年	1,670	86			94	4	35	3
平成28年	1,362	62	1	1	113	4	21	2
平成29年	1,450	71	8	1	83	4	12	1

普通・上級救命講習受講人員

※普通救命講習（ 3時間 ）　：　心肺蘇生法・止血法

※上級救命講習（ 8時間 ）　：　心肺蘇生法・止血法・傷病者管理法・外傷の手当て・搬送法

※普及員講習（24時間）　：　普通救命講習の指導に従事する者の講習

※指導員講習（24時間）　：　上記講習の指導に従事する者の講習

救助出場状況

（平成29年中）

区分	合計	火災	交通事故	水難事故	山岳	機械による事故	建物等による事故	その他の事故
出場件数	74		46	4	11	1	2	10
活動件数	51		29	3	10	1	2	6
救助人員	58		33	2	15	1	2	5

１．市町別出場件数

（平成29年中）

区分	合計	火災	交通事故	水難事故	山岳	機械による事故	建物等による事故	その他の事故
桑名市	35		22	2	1		2	8
いなべ市	25		15		8	1		1
木曽岬町	5		3	1				1
東員町	5		5					
管　外	4		1	1	2			
合　計	74		46	4	11	1	2	10

２．過去５年間の救助出場状況

予　防　統　計

（平成 29 年中統計）

危険物製造所等の施設数

（平成29年12月31日現在）

区分				施設数
危険物製造所				19
貯蔵所	屋内貯蔵所			119
	屋外タンク貯蔵所			231
	屋内タンク貯蔵所			45
	地下タンク貯蔵所			145
	簡易タンク貯蔵所			3
	移動タンク貯蔵所			134
	屋外貯蔵所			41
	小計			718
取扱所	給油取扱所	営業用	ﾌﾙｻｰﾋﾞｽ	43
			セルフ	17
		自家用		72
	販売取扱所			
	移送取扱所			
	一般取扱所			192
	小計			324
合計				1,061

危険物施設の比率

取扱所の区分別施設数

貯蔵所の区分別施設数

市町別危険物施設の現況

（平成29年12月31日現在）

区分				桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	合計
危険物製造所				1	8		10	19
貯蔵所	屋内貯蔵所			36	52	1	30	119
	屋外タンク貯蔵所			46	87	11	87	231
	屋内タンク貯蔵所			13	27	2	3	45
	地下タンク貯蔵所			82	45	11	7	145
	簡易タンク貯蔵所			1	2			3
	移動タンク貯蔵所			66	33	4	31	134
	屋外貯蔵所			7	17		17	41
	小計			251	263	29	175	718
取扱所	給油取扱所	営業用	ﾌﾙｻｰﾋﾞｽ	22	13	2	6	43
			セルフ	15	2			17
		自家用		27	33	4	8	72
	販売取扱所							
	移送取扱所							
	一般取扱所			87	73	6	26	192
	小計			151	121	12	40	324
合計				403	392	41	225	1,061

市町別の危険物施設数

危険物施設許可認可等の申請取扱件数

（平成29年中）

区分		桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	合計
製造所	設置許可申請					
	設置完成検査申請					
	変更許可申請		6		14	20
	仮使用承認申請		5		14	19
	変更完成検査申請		6		12	18
貯蔵所	設置許可申請	4	4		4	12
	設置完成検査申請	4	3		1	8
	変更許可申請		7		20	27
	仮使用承認申請		6		16	22
	変更完成検査申請		8		11	19
	移動タンク転入許可申請	1				1
取扱所	設置許可申請	3	1		1	5
	設置完成検査申請	4	1		1	6
	変更許可申請	32	38	1	7	78
	仮使用承認申請	32	34	1	3	70
	変更完成検査申請	29	33	1	3	66
仮貯蔵仮取扱承認申請		3	6			9
完成検査前検査申請			1	5	20	26
予防規程制定認可申請		2	2			4
再交付申請		1			1	2
合計		115	161	8	128	412

危険物規制に関する届出件数

（平成29年中）

区分	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	合計
種類数量の変更届	10	3		7	20
製造所等の変更届（軽微な変更）	87	124	2	36	249
危険物作業開始届		2			2
危険物事故発生届	2	4		2	8
危険物保安監督者選解任届	22	35	1	10	68
設置者氏名名称地番変更届	40	18	3	4	65
製造所等の廃止届（転出届含む）	11	16	1	3	31
製造所等の休止届	1				1
製造所等再開届					
製造所等の譲渡引渡届	5	1			6
製造所等設置取止届					
特定屋外ﾀﾝｸ貯蔵所に係る届					
資料提出書	75	40	11	7	133
合計	253	243	18	69	583

火災予防条例に基づく諸届出件数

（平成29年中）

区分			桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	合計
43条	防火対象物使用開始		135	47	4	21	207
44条	炉・厨房設備・ボイラー給湯湯沸設備・乾燥設備・火花を生ずる設備・放電加工機		14	15	2	1	32
	発電・変電・蓄電池設備設置		45	21	1	10	77
	ネオン管灯設備設置						
	水素ガスを充填する気球設置						
45条	火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為		283	65		40	388
	煙火の打ち上げ又は仕掛け		16	13		11	40
	催し物開催		5	1		1	7
	水道断水又は減水		45	6	1	6	58
	道路工事		206	241	3	35	485
	露店等の開設届		55	22		16	93
46条	少量危険物	貯蔵取扱開始	15	17	5	2	39
		貯蔵取扱廃止	11	16		3	30
	指定可燃物	貯蔵取扱開始	2	9			11
		貯蔵取扱廃止		3			3
合計			832	476	16	146	1,470

建築同意件数

（平成29年中）

区分		桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	合計
確認申請	新築	131	35	5	16	187
	増築	44	29	2	11	86
	改築					
	移転					
	その他	8	5		1	14
許可申請		13	6		1	20
計画通知		6		1		7
仮使用		7	2			9
合計		209	77	8	29	323

用途別建築同意件数

（平成29年中）

区分			桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	合計
1	イ	映画館・劇場等					
	ロ	公会堂・集会場等	3	1			4
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等					
	ロ	遊技場等	1				1
	ハ	性風俗関連特殊営業等					
	ニ	カラオケボックス等個室店舗					
3	イ	料理店等					
	ロ	飲食店等	2	1		2	5
4		店舗・百貨店等	6	2		1	9
5	イ	旅館・ホテル等		1			1
	ロ	寮・共同住宅等	13	1			14
6	イ	病院・診療所等	6	1			7
	ロ	老人短期入所施設等	1	1			2
	ハ	老人デイサービスセンター等	5	3			8
	ニ	幼稚園・養護学校等					
7		小・中学校、各種学校等	1	1			2
8		図書館等				1	1
9	イ	蒸気浴場等					
	ロ	公衆浴場等					
10		停車場等					
11		神社等	1		1		2
12	イ	工場・作業場	22	36	1	10	69
	ロ	映画スタジオ等					
13	イ	車庫・駐車場等			1		1
	ロ	格納庫等					
14		倉庫等	8	8	1	1	18
15		事業所等	25	6	3	2	36
16	イ	特定複合用途	22	3	1		26
	ロ	その他の複合用途	7	4			11
17		文化財等					
18		アーケード					
住宅			80	8		12	100
その他			6				6
合計			209	77	8	29	323

市町別防火対象物数（棟別）

（平成29年12月31日現在）

区分			桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	合計
1	イ	映画館・劇場等	2	2		2	6
	ロ	公会堂・集会場等	62	56	4	19	141
2	イ	キャバレー等	2				2
	ロ	遊技場等	16	1	1	1	19
	ハ	性風俗関連特殊営業等					
	ニ	カラオケボックス等個室営業	3	1			4
3	イ	料理店等	9	3			12
	ロ	飲食店等	131	26	2	12	171
4		店舗・百貨店等	255	52	5	30	342
5	イ	旅館・ホテル等	21	5	4		30
	ロ	寮・共同住宅等	1,251	275	25	69	1,620
6	イ	病院・診療所等	80	21	2	18	121
	ロ	老人短期入所施設等	67	28	2	17	114
	ハ	老人デイサービスセンター等	95	43	3	11	152
	ニ	幼稚園・養護学校等	26	1	1	1	29
7		小・中学校、各種学校	159	42	7	21	229
8		図書館・美術館	8	2	1		11
9	イ	蒸気浴場等	3				3
	ロ	公衆浴場等	2	2			4
10		停車場等	10	2		1	13
11		神社等	111	17	10	6	144
12	イ	工場・作業場	766	455	98	185	1,504
	ロ	映画スタジオ等				1	1
13	イ	車庫・駐車場等	49	9	2	5	65
	ロ	格納庫等	1				1
14		倉庫等	350	236	76	67	729
15		事業所等	529	246	36	87	898
16	イ	特定複合用途	254	59	12	23	348
	ロ	その他の複合用途	109	33	8	6	156
17		文化財等	12				12
18		アーケード	2				2
合計			4,385	1,617	299	582	6,883

※延べ面積が150㎡以上の対象物（17項、18項を除く）

市町別中高層建築物数

（平成29年12月31日現在）

区分	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町	合計
５階	75	26	0	10	111
６階	27	8	1	0	36
７階	19	7	0	1	27
８階	5	0	0	1	6
９階	13	1	0	0	14
10階	10	0	1	0	11
11階	11	0	0	0	11
12階	5	0	0	0	5
13階	5	0	0	0	5
14階	8	1	0	0	9
15階以上	7	0	0	0	7
合計	185	43	2	12	242

	桑名市	いなべ市	木曽岬町	東員町
５～６階	102	34	1	10
７～９階	37	8	0	2
１０～１２階	26	0	1	0
１３階以上	20	1	0	0

通信・気象統計

（平成 29 年中統計）

年間119番受信件数

（平成29年中）

覚知種別件数

区分	火災	警戒	救助	救急	間違い	いたずら	問合せ等	合計
固定電話119	12	21	8	2,569	203	9	1,024	3,846
携帯電話119	67	70	44	3,399	553	21	785	4,939
ＩＰ電話119	40	14	6	2,751	153	3	424	3,391
合計	119	105	58	8,719	909	33	2,233	12,176

災害種別件数

月別119番受信件数

（平成29年中）

火災・警戒・救助 受信件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	9	15	20	7	7	30	6	4	7	0	5	9	119
警戒	7	8	4	4	9	6	13	9	13	11	4	17	105
救助	4	2	3	5	5	7	2	6	6	8	6	4	58

救急 受信件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
救急	894	693	702	644	716	673	787	809	632	713	671	785	8,719

通信施設の現況

（平成30年４月１日現在）

区分		所属別	合計	本部			消防署							
				本部	指揮調査桑名	指揮調査いなべ	桑名市消防署	西分署	大山田分署	多度分署	長木分署	いなべ消防署	北分署	東員消防署
有線通信施設	緊急指令システム	119番専用回線	14	14										
		携帯電話119番専用回線	8	8										
		ＩＰ電話119番回線	8	8										
		高速道路専用回線	1	1										
		指令回線	8	8										
		車両動態表示盤	1	1										
		順次指令ｼｽﾃﾑ回線	6	6										
		指令台専用電話回線	6	6										
	テレホンガイド		1	1										
無線通信施設	消防救急無線	基地局	3	3										
		陸上移動局(車載)	39		1	1	9	3	4	4	4	5	4	4
		陸上移動局(携帯)	35	5	3	3	5	2	3	2	3	3	3	3
		可搬型（指揮、市町災対）	6		2	1					1	1		1
		半固定型（署所端末）	10	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1
	消防無線受信機		3	3										
	陸上移動局（署活波）		90	8	6	4	15	6	9	6	9	9	9	9
	陸上移動局(携帯・防災総合波150MHz帯)		4		2	2								
	県防災行政無線		3	2	1	衛星可搬型地球局１を含む								
	県防災行政無線ﾌｧｸｼﾐﾘ		2	1	1	指揮調査課桑名は衛星可搬型地球局								
	市防災行政無線		15	6			3	2	2	1	1			
	市防災行政無線ﾌｧｸｼﾐﾘ		1	1										
その他	携帯電話		36	10	2	1	4	2	3	2	3	3	3	3
	衛星携帯電話		2		1	1								
	無停電電源装置		9	1			1	1	1	1	1	1	1	1
	気象観測装置		3	1									1	1
	長時間録音システム		1	1										
	全国瞬時警報システム（J-ALERT）		1	1										

※　無線基地局本部欄は、大山田分署（共通波）　播磨配水場・北分署（活動波）

※　県防災行政無線は、地上系無線設備と衛星系無線設備

※　市防災行政無線は、半固定局・携帯局・車載局

※　長木分署は長島木曽岬分署の略

気温

単位　℃　　（平成29年中）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高	14.1	14.0	18.9	24.7	31.0	34.0	35.9	37.6	33.1	30.2	23.4	14.4
起日	9日	4日	30日	16日	30日	19日	16日	24日	1日	10日	3日	1日
最低	-2.8	-0.8	1.8	3.3	11.6	15.5	22.0	22.1	14.4	7.5	3.5	0.4
起日	15日	1日	12日	2日	2日	4日	6日	27日	29日	31日	26日	9日
平均	5.1	5.5	8.8	14.8	20.5	22.5	28.2	28.3	23.8	18.1	11.8	6.2

風速

単位　m/s　　（平成29年中）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最大風速	9.6	10.2	8.6	9.5	7.7	10.6	6.3	12.9	16.3	11.3	9.5	7.6
起日	31日	20日	14日	29日	7日	21日	21日	7日	17日	23日	11日	19日
瞬間最大	24.2	23.3	20.3	21.3	16.3	20.3	12.5	26.7	33.2	24.7	20.1	18.5
起日	21日	6日	14日	29日	7日	21日	18日	7日	17日	23日	11日	26日
平均風速	2.2	2.5	2.5	2.3	2.1	2.3	1.9	2.2	2.2	2.1	2.0	2.1

※観測地（桑名市大字江場７番地　桑名市消防署地内）

湿度

単位　％　　（平成29年中）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最小	29.6	25.5	17.3	15.4	16.6	20.0	44.1	36.4	31.0	33.1	33.1	33.4
起日	6日	27日	20日	4日	7日	11日	6日	9日	25日	31日	2日	5日
平均	65.4	61.9	57.9	65.0	66.2	66.5	78.2	75.8	70.6	78.9	69.6	65.1

降雨量

単位　ミリ　　（平成29年中）

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
降雨日数		11日	8日	8日	11日	7日	8日	14日	12日	12日	18日	7日	6日
降雨量		60.5	37.5	82.0	165.0	85.0	149.5	171.0	150.5	116.0	618.5	43.5	48.0
最大雨量	24時間	19.0	12.5	43.0	63.0	33.5	52.5	37.5	82.0	35.5	254.5	19.0	37.5
	起日	8日	23日	21日	17日	13日	21日	4日	7日	16日	22日	18日	24日

年間	降雨数	125日	降雨量	1,727.0ミリ
月間	平均降雨数	10.2日	平均降雨量	143.9ミリ

※観測地（桑名市大字江場７番地　桑名市消防署地内）

風向頻度

（単位％）　　（平成29年中）

区分	N	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW
1月	6.9	4.0	2.9	1.6	0.9	0.8	0.3	0.3	0.3	0.5	2.0	6.3	21.2	17.0	17.6	17.3
2月	7.9	3.5	3.3	1.6	1.2	0.5	0.6	1.0	0.4	0.6	1.0	3.2	17.4	21.1	19.5	17.2
3月	6.7	3.6	2.7	1.0	1.4	1.1	1.6	2.5	2.9	1.6	0.8	2.2	12.8	23.3	19.0	16.7
4月	7.3	3.1	2.7	2.5	1.9	3.7	6.7	10.6	4.1	1.5	1.0	2.9	13.1	12.7	11.8	14.6
5月	7.4	4.2	3.1	2.0	3.7	4.1	10.1	17.6	5.9	1.5	0.7	2.9	10.1	6.9	8.0	11.9
6月	4.5	3.5	2.5	1.7	2.1	6.1	7.4	15.6	7.3	2.3	1.3	3.1	12.6	12.1	8.3	9.6
7月	5.3	3.1	2.4	1.8	3.5	5.8	10.9	26.6	8.9	3.2	1.2	1.6	8.1	4.3	4.5	8.7
8月	7.1	4.0	3.0	1.8	3.2	7.2	6.7	14.8	7.6	2.9	1.3	3.0	12.9	9.1	4.3	11.1
9月	8.9	4.0	2.6	1.4	1.8	3.1	3.9	7.0	3.1	0.9	0.7	2.2	14.0	13.6	10.8	22.1
10月	10.8	4.6	2.5	1.4	1.4	1.7	1.4	3.0	2.2	1.8	1.0	3.7	10.2	12.4	13.9	28.0
11月	9.3	3.8	2.6	2.2	1.8	1.4	1.5	1.5	1.0	0.8	1.2	2.8	13.5	10.9	18.5	27.2
12月	8.6	4.4	3.2	1.7	1.3	0.7	0.5	0.5	0.3	0.4	0.8	5.8	22.4	14.1	17.2	18.3
平均	7.6	3.8	2.8	1.7	2.0	3.0	4.3	8.4	3.7	1.5	1.1	3.3	14.0	13.1	12.8	16.9

１月　無風　2.4%

２月　無風　2.3%

３月　無風　1.7%

４月　無風　3.2%

５月　無風　2.7%

６月　無風　3.8%

７月　無風　2.6%

８月　無風　2.7%

９月　無風　2.7%

10月　無風　4.2%

11月　無風　2.8%

12月　無風　2.3%

※観測地（桑名市大字江場７番地　桑名市消防署地内）

警報・注意報等発表状況

（平成29年中）

種別＼月別		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
警報	暴風	3								1	1	1		
	暴風雪													
	大雨	3							1	1		1		
	大雪													
	洪水	3							1	1		1		
	波浪													
	高潮													
合計		9							2	3	1	3		
注意報	大雨	22				1	3	3	5	4	1	5		
	大雪	3	2	1										
	風雪	1	1											
	雷	58	1	1	3	5	6	5	13	9	7	6	1	1
	強風	62	8	8	9	6	2	2	1	2	3	4	8	9
	濃霧	11				1	1	1	3			3	2	
	乾燥	17	1	1	7	3	2	3						
	低温	1	1											
	霜	24			19	5								
	洪水	15					3	3	5	2		2		
	波浪	9			1	1		1	1	2	1	2		
	高潮	9								1		8		
合計		232	14	11	39	22	17	18	28	20	12	30	11	10

（平成29年中）

種別＼月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災気象通報	39	2	3	19	4	2	6				1		2
竜巻注意情報	16					1	2	5	3	3	1	1	

（平成29年中）

種別＼月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
大津波警報													
津波警報													
津波注意報													

※警報・注意報は桑名市に発表された回数とする。
※同一種類の警報・注意報を継続する場合に発表された警報・注意報は回数に含めない。
※火災気象通報は三重県北部を対象に発表された回数を示す。
※竜巻注意情報は三重県に発表された一連の情報を１回と数えた回数を示す。
※津波警報・注意報は伊勢・三河湾を対象に発表された回数を示す。

消　　防　　団

（平成 30 年４月 1 日現在）

《桑名市》

消防団のあゆみ

明治 27 年６月 19 日	桑名町消防組は県令の組織認可を受け発足
昭和 12 年３月 20 日 ４月１日 ８月 16 日	西桑名町と合併なる 市政施行により桑名市消防組の改善を行った 新組織による桑名市消防組が発足 陣容は組頭以下 330 名で、これを６部に分け、消防ポンプ自動車７台、手輓ガソリンポンプ１台、蒸気ポンプ１台、腕用ポンプ 10 台を配備
昭和 14 年４月１日	消防組を警防団に改革し、１団７分団にて定員 600 名に増員
昭和 16 年 11 月 15 日	季節常備を配置（11 月 15 日～翌年４月 15 日）、部員７名が桑名警察署内ポンプ詰所で交代に服務
昭和 19 年４月１日 11 月 20 日	警防施設の充実強化の必要により定員 611 名とし、警防団季節常備部を警防団常備消防部とした 初代部長に平野義一が就任、部員は部長以下 11 名で消防ポンプ自動車１台であった 消防部に手輓ガソリンポンプ１台、オートバイ３台、鉄兜 11 個配備
昭和 20 年４月１日	桑名市消防団設置規則公布
昭和 22 年１月 10 日 ５月１日

昭和26年３月２日	桑部・在良・七和３ヵ村合併により10ヵ分団481名となった 第８分団車庫を桑名市大字桑部字中貝戸559番地の２に新築 ○木造平屋建　○建築延面積　19.83㎡ 第８分団能部ポンプ車庫を桑名市大字能部字北貝戸に新築 ○木造平屋建　○建築延面積　6.61㎡ 第８分団東金井ポンプ車庫を桑名市大字東金井に新築 ○木造平屋建　○建築延面積　9.92㎡ 第９分団車庫を桑名市大字西別所字石曽根980番地に新築 ○木造平屋建　○建築延面積　9.92㎡
４月１日	第３分団車庫兼詰所を桑名市京町38番地に新築 ○木造２階建　○建築延面積　84.71㎡
昭和27年４月１日	桑名市消防団設置規則第６号公布 第１分団車庫兼詰所を桑名市伝馬町90番地に新築 ○木造２階建　○建築延面積　103.31㎡
昭和28年３月31日	第２分団車庫兼詰所を桑名市相生町13番地に移築 ○木造２階建　○建築延面積　80.99㎡
11月27日	第８分団（桑部）・第10分団（七和）にそれぞれ三輪消防ポンプ自動車を購入配備
昭和29年３月４日	二代目消防団長が就任
４月１日	消防団員の定員に一部改正案が起こり精鋭主義に重点を置くという見地から10ヵ分団361名に減員
11月１日	第９分団（在良）の手輓ガソリンポンプを廃車して、三輪消防ポンプ自動車を購入配備
昭和30年２月１日	深谷・久米両村の合併により三輪消防ポンプ自動車１台を引継ぎ、消防団の組織を12ヵ分団に改編し、定員385名に改正
４月１日	消防団員の定員を360名に減員
昭和31年１月14日	第４分団に消防本部の消防ポンプ自動車を配備
２月１日	第11分団車庫を桑名市大字下深谷部字堂ノ下3635番地の２に新築 ○木造平屋建　○建築延面積　19.83㎡
３月31日	第10分団車庫兼詰所を桑名市大字芳ヶ崎字西クダラギ139番地の５に新築 ○木造２階建　○建築延面積　39.67㎡
９月１日	城南村の合併により手輓ガソリンポンプ（自動車に積載）２台を引継ぎ13ヵ分団として定員410名とした 第13分団車庫を桑名市大字安永字11区割1860~1861番地内に新築 ○木造平屋建　○建築延面積　39.67㎡
12月14日	第２・第６分団に消防ポンプ自動車ＢＳ－Ⅰ型２台を購入配備
昭和32年２月11日	日本消防協会から表彰旗を授与される
６月21日	三代目消防団長が就任
12月18日	第12分団に三輪消防ポンプ自動車を購入配備
昭和33年４月１日	第12分団車庫を桑名市大字志知字加賀谷3840番地に新築 ○木造平屋建　○建築延面積　19.83㎡
12月10日	第13分団小貝須浜ポンプ車庫を桑名市大字小貝須字才兵衛縄976番地の１に新築 ○木造平屋建　○建築延面積　26.45㎡
昭和36年12月	第７分団に消防ポンプ自動車を購入配備
昭和37年３月７日	消防庁長官から竿頭綬を授与される
８月	桑名市において三重県消防操法大会を開催（立教小学校）第13分団が出場

昭和38年３月	第13分団車（安永）を廃車し、消防署の消防ポンプ自動車を配備
３月29日	第４分団車庫兼詰所を改築
12月１日	消防署の消防ポンプ車ＢＳ‐Ⅰ型を消防団第５分団に配備
昭和40年４月22日	桑名市において第17回三重県消防大会開催（光風中学校）
昭和41年３月26日	桑名市消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例を公布
昭和42年12月１日	第３分団の消防ポンプ自動車をＢＳ－Ⅰ型に更新
昭和43年11月４日	四代目消防団長が就任
昭和44年５月７日	第13分団（安永）車庫老朽のため、桑名市大字安永11区割1890番地に車庫兼詰所を新築 ○鉄骨造２階建　○建築延面積　121.25㎡
12月26日	第４分団車廃車し、消防ポンプ自動車ＢＳ－Ⅰ型を購入配備
昭和46年７月２日	第13分団車（浜）を廃車、第13分団車（安永）を配備し、消防署の消防ポンプ自動車ＢＳ－Ⅰ型を第13分団（安永）に配備
11月26日	第１・８・９・10・11・12分団車を廃車し、消防ポンプ自動車ＢＳ－Ⅰ型６台を購入配備
昭和47年８月４日	木曽三川連合水防演習・三重県総合防災訓練に桑名市参加
10月３日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車ＢＤ－Ⅰ型の寄贈を受け、第13分団（安永）に配備し、旧分団車を消防署に配備
11月18日	第８分団車庫老朽のため桑名市大字桑部字中貝戸559番地の２に車庫兼詰所を新築 ○鉄骨造２階建　○建築延面積　87.72㎡
12月１日	第２・３・６分団車を廃車し、消防ポンプ自動車ＢＳ－Ⅰ型３台を購入配備 第13分団車（浜）の代替車として、旧第３分団車を配備
昭和48年11月７日	第９分団車庫老朽のため、桑名市大字西別所字石曽根980番地に車庫兼詰所を新築 ○鉄骨造２階建　○建築延面積　53.23㎡
昭和49年５月21日	桑名防火協会からトランシーバー18機の寄贈を受け、各消防分団に装備
11月６日	第４分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字赤須賀字12番組86番地の20に移転 ○木造２階建　○建築延面積　83.14㎡
昭和50年１月７日	五代目消防団長が就任
昭和52年12月24日	第13分団車（浜）を廃車し、消防ポンプ自動車ＢＳ－Ⅰ型を購入配備
昭和53年３月24日	第６分団詰所を桑名市大字東方城下1307番地の１に移転 ○木造平屋建　○建築延面積　51.71㎡
７月21日	木曽三川連合水防演習・三重県総合防災訓練に桑名市参加
昭和53年12月22日	桑名市消防団指揮旗の制式及び使用内規を定めた
昭和54年12月23日	第７分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字桑名字北浜628番地の１に移転 ○鉄骨造２階建　○建築延面積　119.24㎡
12月24日	第７分団車の消防ポンプ自動車をＢＳ－Ⅰ型に更新
昭和55年７月15日	第５分団の消防ポンプ自動車をＢＳ－Ⅰ型に更新
11月９日	消防100年記念消防家族親睦運動会を実施
11月27日	消防制度100年記念大会が東京・後楽園球場にて挙行、団幹部出席
昭和56年３月25日	第13分団（浜）ポンプ車庫兼水防倉庫老朽のため改築 ○鉄骨造２階建　○建築延面積　92.76㎡
３月26日	桑名市消防団の設置等に関する条例を公布 桑名市消防団に関する規則を公布 桑名市消防団設置規則の全部を改正
10月16日	第４・第５・第６・第８分団に小型動力ポンプ（Ｂ－３）４台を購入配備
12月20日	第12分団車庫老朽のため、桑名市大字志知字平群沢3683番地４に車庫兼詰所を移転 ○鉄骨造平屋建　○建築延面積　79.99㎡

昭和57年７月20日	昭和57年度木曽三川連合水防演習が岐阜羽島にて実施され、桑名市から第８・第９・第10・第11・第12分団が出場
９月16日	第９・第10・第11分団に小型動力ポンプ（Ｂ－３）３台を購入配備
12月８日	第10分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字芳ヶ崎字西クダラギ1365番地１に移転 ○鉄骨造平屋建　○建築延面積　79.99㎡
12月14日	第11分団車庫老朽のため、桑名市大字下深谷部字長儘4916番地の４に車庫兼詰所を移転 ○鉄骨造２階建　○建築延面積　106.62㎡
12月25日	第12分団に小型動力ポンプ（Ｂ－３）を購入配備
昭和58年６月14日	桑名市において三重県消防団長会議を開催
８月26日	第1･第２･第３･第13（安永）分団に小型動力ポンプ（Ｂ－３）４台を購入配備
12月３日	第４分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字赤須賀字12番組85番地の１に移転 ○鉄骨造２階建　○建築延面積　78.38㎡
12月７日	第５分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市新矢田一丁目52番地に移転 ○鉄骨造２階建　○建築延面積　115.74㎡
昭和59年７月27日	昭和59年度木曽三川連合水防演習が長島町において実施され、桑名市から第８･第９･第10･第12･第13分団が出場
10月10日	第７･第13（浜）分団に小型動力ポンプ（Ｂ－３）２台を購入配備し、これにより小型動力ポンプは全分団への配備が完了
昭和60年３月６日	消防庁長官から表彰旗を授与される
昭和61年６月15日	桑名郡市消防団幹部教養訓練を実施
昭和62年３月24日	六代目消防団長が就任
６月28日	第２回桑名郡市・東員町消防団幹部教養訓練を実施
昭和62年12月14日	第４分団の消防ポンプ自動車をＣＤ－Ⅰ型に更新
昭和63年３月25日	桑名市消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例を一部改正 第６分団地区（大成・大和・大山田）の内、大山田を分割、消防団第14分団を設置、定員を435名とした
６月12日	第３回桑名郡市・東員町消防団幹部教養訓練を実施
10月13日	第８・第12分団の消防ポンプ自動車をＣＤ－Ⅰ型に更新 第14分団に消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型及び小型動力ポンプ（Ｂ－３）を購入配備
12月７日	第14分団車庫兼詰所を桑名市大山田一丁目９番地に新築 ○鉄骨造平屋建　○建築延面積　79.49㎡
平成元年２月22日	第10分団の消防ポンプ自動車をＣＤ－Ⅰ型に更新
６月11日	第４回桑名郡市・東員町消防団幹部教養訓練を実施
10月20日	第１分団の消防ポンプ自動車をＣＤ－Ⅰ型に更新
11月24日	第８分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字桑部830番地の23に移転 ○鉄骨造平屋建　○建築延面積　79.49㎡
12月１日	七代目消防団長が就任
平成２年２月14日	日本消防協会から竿頭綬を授与される
３月26日	第11分団の消防ポンプ自動車をＣＤ－Ⅰ型に更新
３月31日	第９分団の消防ポンプ自動車をＣＤ－Ⅰ型に更新
５月29日	木曽三川連合水防演習・三重県総合防災訓練に桑名市参加
10月１日	消防団に関する規則の一部を改正し副団長を１名増員
11月20日	第２分団の消防ポンプ自動車をＣＤ－Ⅰ型に更新
12月６日	第２分団車庫兼詰所老朽のため改築 ○鉄骨造２階建　○建築延面積　74.46㎡

平成３年３月 29 日	第３分団の消防ポンプ自動車をＣＤ－Ⅰ型に更新
11 月 27 日	第６分団の消防ポンプ自動車をＣＤ－Ⅰ型に更新
12 月 11 日	第３分団車庫兼詰所老朽のため改築 ○鉄骨造２階建　　○建築延面積　74.46 ㎡
平成４年１月１日	桑名市消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例を一部改正
３月 25 日	第 13 分団（安永）の消防ポンプ自動車をＣＤ－Ⅰ型に更新
４月１日	桑名市消防団員の定員・任免・給与・服務等に関する条例を一部改正 消防団に関する規則の一部を改正し副分団長の階級を定めた
５月 27 日	木曽三川連合水防演習・愛知県総合防災訓練に桑名市参加
12 月９日	第１分団車庫兼詰所老朽のため改築 ○鉄骨造２階建　　○建築延面積　74.46 ㎡
平成５年３月 25 日	第 13 分団（浜）の消防ポンプ自動車をＣＤ－Ⅰ型に更新
11 月 18 日	自治体消防 45 周年記念大会が東京ドームにて挙行、団長以下幹部出席
12 月１日	八代目消防団長が就任
平成６年２月 24 日	第５分団の消防ポンプ自動車をＣＤ－Ⅰ型に更新
２月 25 日	第７分団の消防ポンプ自動車をＣＤ－Ⅰ型に更新
５月 27 日	木曽三川連合水防演習・岐阜県総合防災訓練に桑名市参加
平成７年３月５日	新入団員研修会を実施
４月１日	自主防災指導部会を発足
平成８年４月１日	消防団活動研究会を発足
平成 10 年３月５日	第 13 分団（安永）車庫兼詰所老朽のため改築 ○鉄骨造２階建　　○建築延面積　54.0 ㎡
３月７日	自治体消防 50 周年記念大会が東京武道館で挙行、団長以下幹部出席
３月 23 日	消防団に関する規則の一部を改正
４月１日	女性消防団を発足
５月 24 日	木曽三川連合水防演習・愛知県総合防災訓練に桑名市参加
７月 23 日	三重県消防操法大会ポンプ車の部で優勝
７月 31 日	日本消防協会から女性消防団に軽可搬ポンプの寄贈を受ける
10 月８日	横浜市で開催された第 16 回全国消防操法大会に三重県代表として出場
平成 11 年 10 月 21 日	横浜市で開催された第 14 回全国婦人消防団操法大会に女性消防団が三重県代表として出場
平成 12 年５月 28 日	木曽三川連合水防演習に参加
７月１日	消防団に関する規則の一部を改正
７月 12 日	平成 12 年度三重県消防団長会議が開催され出席
11 月２日	平成 12 年度三重県青年・女性消防団員研修会及び交流会が開催され講師として出席
平成 14 年３月 15 日	第６分団車庫兼詰所老朽のため、桑名市大字北別所 1156 番地の５に移転新築完成（竣工は平成 14 年４月４日） ○鉄骨造２階建　　○建築延面積　91.80 ㎡
５月 19 日	多度町で開催された木曽三川合同水防演習に参加
７月 27 日	鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に第 10 分団が出場
平成 15 年 11 月 20 日	東京ドームで開催された自治体消防 55 周年記念大会に参加
11 月 28 日	第４分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新
平成 16 年７月 24 日	鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に第９分団が出場
９月 13 日	第８・12・14 分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新

平成16年12月6日	桑名市・多度町・長島町の合併に伴い桑名市消防団・多度町消防団・長島町消防団を合併し、桑名方面団14分団・多度方面団５分団・長島方面団６分団（機動分団含む）で構成され定員 776 名とする桑名市消防団となり、初代団長に旧桑名市消防団長柴田清勝が就任した
12月12日	消防本部２階に女性消防団室を設置
平成17年２月９日	桑名方面団第10分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新
３月７日	長島方面団第４・５分団の小型動力ポンプ付積載車を更新
10月12日	桑名方面団第１・９分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新
平成18年２月10日	日本消防協会から特別表彰まといを授与される
２月24日	桑名方面団第11分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 多度方面団第１分団の小型動力ポンプ付積載車を購入
３月13日	多度方面団第１分団車庫兼詰所、桑名市多度町小山2361番地１に新築完成 （竣工は平成18年４月２日） ○鉄骨造２階建　○建築延面積　91.80㎡
７月22日	鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に桑名方面団第８分団・長島方面団第４分団が出場（小型ポンプ操法で長島方面団第４分団優勝）
10月13日	桑名方面団第２分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 桑名方面団第３分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新
平成19年２月26日	多度方面団第２分団の小型動力ポンプ付積載車を購入
２月26日	多度方面団第２分団車庫兼詰所、桑名市多度町下野代1388番地１に新築完成 ○鉄骨造２階建　○建築延面積　91.80㎡
11月13日	桑名方面団第６分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新
11月25日	桑名方面団第３回桑名市消防団小型ポンプ繰法大会を実施
平成20年２月20日	桑名方面団第13分団（安永）の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新
７月19日	鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に多度方面団第４分団出場
平成21年３月15日	桑名方面団第13分団（浜）の消防ポンプ自動車をＣＤ―Ⅰ型に更新
３月11日	多度方面団第３分団車庫兼詰所、桑名市多度町力尾2682番地１に新築完成 （竣工は平成21年３月22日） ○鉄骨造２階建　○建築面積　91.80㎡
３月22日	多度方面団第３分団の小型動力ポンプ付積載車を購入
平成22年１月19日	桑名方面団第５分団、第７分団の消防ポンプ自動車を小型動力ポンプ付積載車に更新 多度方面団第５分団の小型動力ポンプ付積載車を購入
３月５日	多度方面団第５分団車庫兼詰所、桑名市多度町香取2199番地29に新築完成 （竣工は平成22年３月20日） ○鉄骨造２階建　○建築面積　91.80㎡
７月25日	鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に桑名方面団第７分団が出場
平成23年３月４日	多度方面団第４分団車庫兼詰所、桑名市多度町古野780番地９に新築完成 （竣工は平成23年３月20日） ○鉄骨２階建　○建築面積　91.80㎡
３月11日	多度方面団第４分団の小型動力ポンプ付積載車を購入
４月１日	桑名市消防団　桑名・多度・長島方面団事務を消防本部に集約
４月17日	桑名市消防団３方面団合同新人訓練開催
平成24年５月27日	岐阜県で開催された木曽三川連合水防演習に参加
７月21日	鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に長島方面団第５分団が出場 （小型ポンプ操法で３位入賞）
平成25年２月26日	日本消防協会から竿頭綬を受ける
５月10日	団員全員にライフジャケット配備

平成 25 年 10 月 22 日	桑名方面団第 12 分団車庫兼詰所、桑名市大字志知字平群沢 3683 番地４に新築完成 （竣工は平成 25 年 11 月 2 日） ○鉄骨造２階建　　○建築面積　91.80 ㎡
11 月 25 日	東京ドームで開催された消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念大会に参加 消防団長が内閣総理大臣賞を受賞
平成 26 年 7 月 13 日	鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に桑名方面団第 6 分団が出場
8 月 1 日	消防団サポート事業所　募集開始
10 月 1 日	消防団サポート事業を運用開始
10 月 3 日	日本消防協会から「消防団防災学習・災害活動車両（ハイエース）」の寄贈を受け、桑名市消防団に配備
平成 27 年 1 月 6 日	「救助資機材搭載型消防ポンプ自動車」（長島方面団第１分団配備）の無償使用を開始（総務省消防庁）
3 月 27 日	桑名方面団第９分団車庫兼詰所、桑名市大字増田 604 番地３に新築完成 （竣工は平成 27 年３月 29 日） ○鉄骨造２階建　　○建築面積 91.80 ㎡
5 月 24 日	団員全員に編上靴を配備
11 月 9 日	各分団に耐切創手袋を 10 双配備
平成 28 年４月１日	長島方面団の組織改編に伴い機動分団を廃止し、第６分団を新設
7 月 16 日	鈴鹿市で開催された三重県消防操法大会に多度方面団が出場
平成 29 年５月 28 日	新基準活動服を女性消防団から配布
10 月 1 日	桑名市学生消防団活動認証制度を運用開始

消防団の組織

本部長
（市長）
消防団長
桑名方面団
桑名方面団第１分団
桑名方面団第２分団
桑名方面団第３分団
桑名方面団第４分団
桑名方面団第５分団
桑名方面団第６分団
桑名方面団第７分団
桑名方面団第８分団
桑名方面団第９分団
桑名方面団第10分団
桑名方面団第11分団
桑名方面団第12分団
桑名方面団第13分団
（安永）
桑名方面団第13分団
（小貝須浜）
桑名方面団第14分団
桑名市女性消防団
多度方面団
多度方面団第１分団
多度方面団第２分団
多度方面団第３分団
多度方面団第４分団
多度方面団第５分団
長島方面団
長島方面団第１分団
長島方面団第２分団
長島方面団第３分団
長島方面団第４分団
長島方面団第５分団
長島方面団第６分団

消防団階級別団員数

（平成30年４月１日現在）

役職＼階級		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
本部	消防団長	1							1
	桑名方面団長		1						1
	桑名方面団副団長		3						3
	桑名方面団本部付分団長			2					2
	多度方面団長		1						1
	多度方面団副団長		2						2
	長島方面団長		1						1
	長島方面団副団長		3						3
	女性消防団			1	1	1	2	4	9
桑名方面団第１分団				1	1	2	3	12	19
桑名方面団第２分団				1	1	2	3	9	16
桑名方面団第３分団				1	1	3	5	12	22
桑名方面団第４分団				1	1	2	4	10	18
桑名方面団第５分団				1	1	3	6	19	30
桑名方面団第６分団				1	1	3	4	18	27
桑名方面団第７分団				1	1	2	3	11	18
桑名方面団第８分団				1	1	3	2	15	22
桑名方面団第９分団				1	1	3	5	12	22
桑名方面団第１０分団				1	1	3	6	15	26
桑名方面団第１１分団				1	1	2	5	22	31
桑名方面団第１２分団				1	1	3	3	13	21
桑名方面団第１３分団				1	2	4	8	33	48
桑名方面団第１４分団				1	1	3	5	19	29
多度方面団第１分団				1	1		6	35	43
多度方面団第２分団				1	1		4	18	24
多度方面団第３分団				1	1		4	24	30
多度方面団第４分団				1	1		3	16	21
多度方面団第５分団				1	1		5	24	31
長島方面団第１分団				1	2			23	26
長島方面団第２分団				1	2			16	19
長島方面団第３分団				1	2			24	27
長島方面団第４分団				1	2			25	28
長島方面団第５分団				1	2			25	28
長島方面団第６分団				1	2			18	21
計		1	11	28	33	39	86	472	670

消防団員の勤続年数状況

（平成30年４月１日現在）

団員の勤続年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
５年未満			1	8		13	228	250
５年以上～10年未満			7	6	1	12	139	165
10年以上～15年未満		2	1	3	3	18	62	89
15年以上～20年未満		2	2	4	6	13	26	53
20年以上～25年未満		2	3	1	10	17	7	40
25年以上～30年未満		1	3	8	13	11	5	41
30年以上	1	4	11	3	6	2	5	32
計	1	11	28	33	39	86	472	670
平均勤続年数	47.0	26.2	23.2	15.1	23.4	15.1	6.4	10

消防団員の年齢状況

（平成30年４月１日現在）

団員の年齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
20歳未満							2	2
20歳以上～25歳未満							15	15
25歳以上～30歳未満				1		6	77	84
30歳以上～35歳未満			7	7		14	114	142
35歳以上～40歳未満		1		2	1	9	89	102
40歳以上～45歳未満		2	3	4		6	59	74
45歳以上～50歳未満		1	1	3	6	16	60	87
50歳以上～55歳未満		2	3	5	13	10	33	66
55歳以上～60歳未満		2	4	5	9	20	14	54
60歳以上	1	3	10	6	10	5	9	44
計	1	11	28	33	39	86	472	670
平均年齢	79	53.9	51.8	46.2	55.3	45.7	37.7	41.1

歴代消防団長

歴代	氏名	在職年数	在職年月日
初代	岡　川　文　一	６年５月	昭和 22. ９. 12～昭和 29. ３. ３
二代	近　藤　清　次	３年３月	昭和 29. ３. ４～昭和 32. ６. 20
三代	水　谷　庄三郎	11 年４月	昭和 32. ６. 21～昭和 43. 11. ３
四代	辻　　一　三	６年２月	昭和 43. 11. ４～昭和 50. １. ６
五代	中　村　利　幸	12 年２月	昭和 50. １. ７～昭和 62. ３. 23
六代	石　川　　晋	２年８月	昭和 62. ３. 24～平成元. 11. 30
七代	松　尾　信　廣	４年０月	平成元. 12. １～平成５. 11. 30
八代	柴　田　清　勝	11 年０月	平成５. 12. １～平成 16. 12. ５
合併による初代	柴　田　清　勝		平成 16. 12. ６～

消防団員教育実施状況

学校	科別＼階級	平成 29 年度　受講者							
		計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
県消防学校	普通科	2							2
	指揮幹部科 現場指揮課程	2			1	1			
	団長科								
	指揮幹部科 分団指揮課程・指導員科	1				1			
	機関員科	2							2
	一日入校	4							4

桑名市消防団区域図

多度方面団
第4分団
第5分団
第1分団
第3分団
第2分団
長島方面団
第3分団
第6分団
第1分団
第2分団
第4分団
第5分団
桑名方面団
第11分団
第14分団
第7分団
第2分団
第6分団
第3分団
第10分団
第4分団
第9分団
第5分団
第1分団
第12分団
第8分団
第13分団（安永）
第13分団（浜）

桑名市消防団施設概要

（平成30年４月１日現在）

所属	分団名	所在地	敷地面積	建築延面積	構造	建築年月日	付属施設
桑名方面団	第１分団（日進）	桑名市伝馬町90番地	192.32㎡	74.46㎡	鉄骨造２階建	平成4年12月9日	ホース乾燥用鉄塔
	第２分団（精義）	桑名市相生町13番地	85.35㎡	74.46㎡	〃	平成2年12月6日	〃
	第３分団（立教）	桑名市京町38番地	190.21㎡	74.46㎡	〃	平成3年12月11日	〃
	第４分団（城東）	桑名市大字赤須賀字12番組85番地1	56.80㎡	78.38㎡	〃	昭和58年12月3日	〃
	第５分団（益世）	桑名市新矢田一丁目52番地	102.87㎡	115.74㎡	〃	昭和58年12月7日	〃
	第６分団（大成・大和）	桑名市大字北別所1156番地5	415.00㎡	91.80㎡	〃	平成14年3月15日	〃
	第７分団（修徳）	桑名市大字桑名字北浜628番地1	396.79㎡	119.24㎡	〃	昭和54年12月23日	〃
	第８分団（桑部）	桑名市大字桑部字西貝戸830番地23	地区センター敷地内	79.49㎡	鉄骨造平屋建	平成元年11月24日	〃
	第９分団（在良）	桑名市大字増田604番地3	373.55㎡	91.8㎡	鉄骨造２階建	平成27年3月27日	―
	第10分団（七和）	桑名市大字芳ヶ崎字西クダラギ1365番地1	地区センター敷地内	79.99㎡	鉄骨造平屋建	昭和57年12月8日	ホース乾燥用鉄塔
	第11分団（深谷）	桑名市大字下深谷部字長儘4916番地4	210.00㎡	106.62㎡	鉄骨造２階建	昭和57年12月14日	〃
	第12分団（久米）	桑名市大字志知字平群沢3683番地4	239.98㎡	91.8㎡	〃	平成25年10月22日	―
	第13分団（安永）	桑名市大字和泉リノ割1367番地1	362.00㎡	126.00㎡	〃	平成10年3月5日	ホース乾燥用鉄塔
	第13分団（小貝須浜）	桑名市大字小貝須字才兵衛縄976番地1	108.15㎡	92.76㎡	〃	昭和56年3月25日	〃
	第14分団（大山田）	桑名市大山田一丁目9番地	地区センター敷地内	79.49㎡	鉄骨造平屋建	昭和63年12月7日	〃
多度方面団	第１分団	桑名市多度町小山2361番地1	585.86㎡	91.80㎡	鉄骨造２階建	平成18年3月13日	〃
	第２分団	桑名市多度町下野代1388番地1	430.34㎡	91.80㎡	〃	平成19年2月28日	〃
	第３分団	桑名市多度町力尾2682番地1	339.71㎡	91.80㎡	〃	平成21年3月11日	〃
	第４分団	桑名市多度町古野780番地9	335.53㎡	91.80㎡	〃	平成23年3月4日	〃
	第５分団	桑名市多度町香取2199番地29	311.78㎡	91.80㎡	〃	平成22年3月5日	〃
長島方面団	第１分団（又木）	桑名市長島町又木75番地	473.00㎡	194.82㎡	〃	昭和63年9月30日	〃
	第２分団（殿名）	桑名市長島町殿名561番地3	626.88㎡	147.99㎡	〃	平成3年11月28日	〃
	第３分団（西川）	桑名市長島町西川960番地	600.00㎡	147.99㎡	〃	平成2年12月20日	〃
	第４分団（赤地）	桑名市長島町赤地402番地2	468.98㎡	132.97㎡	〃	平成12年2月4日	〃
	第５分団（松蔭）	桑名市長島町松蔭133番地	908.00㎡	191.97㎡	〃	昭和62年12月15日	〃
	第６分団（小島）	桑名市長島町小島249番地	407.09㎡	153.13㎡	〃	昭和62年3月10日	〃

桑名市消防団車両の配置状況

（平成30年４月１日現在）

所属	分団名	車種	型別	車両番号	年式	車両メーカー	ポンプ能力	備考
本部	団本部	団本部車	―	三重800 す9897	H26.10.3	トヨタ	―	日本消防協会 寄贈
	女性消防団	防災指導車	―	三重80 あ27-66	H13.8.1	スズキ	―	―
桑名方面団	第１分団 （日進）	消防ポンプ車	小型動力ポンプ付 積載車	三重800 す17-00	H17.10.5	トヨタ	Ｂ－２	―
	第２分団 （精義）	〃	〃	三重800 す31-85	H18.10.13	三菱	〃	―
	第３分団 （立教）	〃	〃	三重800 す31-86	H18.10.13	三菱	〃	―
	第４分団 （城東）	〃	〃	三重800 さ88-94	H15.11.26	トヨタ	〃	―
	第５分団 （益世）	〃	〃	三重800 す63-99	H22.1.19	日産	〃	―
	第６分団 （大成・大和）	〃	〃	三重800 す44-55	H19.11.13	トヨタ	〃	―
	第７分団 （修徳）	〃	〃	三重800 す63-97	H22.1.19	日産	〃	―
	第８分団 （桑部）	〃	〃	三重800 す　69	H16.9.8	トヨタ	〃	―
	第９分団 （在良）	〃	〃	三重800 す17-01	H17.10.5	トヨタ	〃	―
	第10分団 （七和）	〃	〃	三重800 す　688	H17.2.4	トヨタ	〃	―
	第11分団 （深谷）	〃	〃	三重800 す22-61	H18.2.22	トヨタ	〃	―
	第12分団 （久米）	〃	〃	三重800 す　70	H16.9.8	トヨタ	〃	―
	第13分団 （安永）	〃	〃	三重800 す46-97	H20.2.20	トヨタ	〃	―
	第13分団 （小貝須浜）	〃	ＣＤ－Ⅰ型	三重800 す56-34	H21.2.26	日野	Ａ－２	―
	第14分団 （大山田）	〃	小型動力ポンプ付 積載車	三重800 す　71	H16.9.8	トヨタ	Ｂ－２	―
多度方面団	第１分団	〃	〃	三重800 す22-62	H18.2.22	トヨタ	Ｂ-２	―
	第２分団	〃	〃	三重800 す36-37	H19.2.26	トヨタ	〃	―
	第３分団	〃	〃	三重800 す56-23	H21.2.24	日産	〃	小型動力ポンプ 積載
	第４分団	〃	〃	三重800 す73-37	H23.3.11	日産	〃	〃
	第５分団	〃	〃	三重800 す63-98	H22.1.19	日産	〃	―
長島方面団	第１分団 （又木）	〃	ＣＤ－Ⅰ型	三重800 せ　53	H26.12.19	いすゞ	Ａ－２	総務省 無償貸付車両
	第２分団 （殿名）	〃	小型動力ポンプ付 積載車	三重800 さ　94-44	H16.3.22	いすゞ	Ｂ－３	―
	第３分団 （西川）	〃	〃	三重800 さ　91-85	H16.1.29	三菱	〃	―
	第４分団 （赤地）	〃	〃	三重800 す　730	H17.3.7	いすゞ	〃	―
	第５分団 （松蔭）	〃	〃	三重800 す　731	H17.3.7	いすゞ	〃	―
	第６分団 （小島）	〃	〃	三重800 さ　74-43	H14.12.24	ニッサン	〃	―

消防操法大会出場分団

開催年度	出場分団	三重県大会	北勢支会大会
		成績	成績
昭和46年度	第４分団	－	努力賞
47年度	第10分団	－	努力賞
48年度	第１分団	－	努力賞
49年度	第８分団	準優勝	優勝
50年度	第11分団	－	努力賞
51年度	第12分団	－	努力賞
52年度	第２分団	努力賞	－
53年度	第３分団	－	努力賞
54年度	第６分団	努力賞	－
55年度	第５分団	優勝	優勝
56年度	第７分団	優勝	－
57年度	第13分団	準優勝	優勝
58年度	第12分団	準優勝	－
59年度	第11分団	準優勝	準優勝
60年度	第10分団	優勝	－
61年度	第９分団	－	努力賞
62年度	第８分団	３位	－
63年度	第７分団	努力賞	準優勝
平成元年度	第６分団	優良賞	－
２年度	第５分団	３位	優勝
３年度	第４分団	－	平成２年度以降北勢支会大会については開催されていない
４年度	第３分団	優勝	
５年度	第２分団	準優勝	
６年度	第１分団	努力賞	
７年度	第14分団	準優勝	
８年度	第13分団	優勝 （小型ポンプ操法） 準優勝	
10年度	第12分団	優勝	
		敢闘賞（全国）	
11年度	女性消防団	敢闘賞（全国）	
12年度	第11分団	－	
14年度	第10分団	努力賞	
16年度	第９分団	－	
18年度	桑名方面団 第８分団	－	
	長島方面団 第４分団	（小型ポンプ操法） 優勝	

開催年度	出場分団	三重県大会
		成績
平成20年度	多度方面団 第４分団	－
22年度	桑名方面団 ７分団	３位
24年度	長島方面団 第５分団	３位
26年度	桑名方面団 第６分団	努力賞
28年度	多度方面団	努力賞

平成30年度全国統一防火標語

忘れてない？　サイフにスマホに　火の確認

平成30年度危険物安全週間推進標語

この一球　届け無事故へ　みんなの願い

平成30年度消防本部人権啓発標語

思いやる　小さな気遣い　社会を変える

「ありがとう」　世界をつなぐ　その言葉

理解する　相手の気持ち　思いやり

歩み寄る　感謝の気持ち　ありがとう

人権は　みんなにあるもの　守るもの

平成30年版　　消防年報

平成30年6月

編　集
発　行　　桑名市消防本部総務課

所在地　　三重県桑名市大字江場７番地
郵便番号　　５１１－０８３６
電　　話（０５９４）２４－５２７３
ＦＡＸ（０５９４）２４－５２８７